

## 「上士幌町の甲虫類」の訂正と補遺

芳賀 馨<sup>1)</sup>

The correction and supplement for  
"The Coleopterous fauna of Kamishihoro Town, Hokkaido"  
(Haga et al., 2010)

Kaoru HAGA<sup>1)</sup>

### 1. 緒言

著者は、柴多浩一、伊藤勝彦、川辺百樹の各氏と共著で、本誌の前身誌である「上士幌町ひがし大雪博物館研究報告」に、「上士幌町の甲虫」と題して、町内に生息する甲虫類（昆虫綱鞘翅目）の総目録を発表した（芳賀ほか、2010. 以下「前報」という）。前報の発表から5年余が経過したが、この間に前報で記録した種の中にいくつかの誤同定があったことが判明し、それらを早期に訂正することが必要となっている。一方で、上士幌町の甲虫類に関する文献は着実に増え続けており、さらに、前報において種までの同定ができず目録に収録できなかった標本の一部について専門家の同定が得られ、または新しい文献の発表によって著者自身で同定することが可能となった。これらの事情によって新たに上士幌町のファウナに追加されるべき種がある。

以上のような事情を考慮し、前報の訂正と補遺を報告する。

### 2. 調査の方法

#### 2.1 既存標本の再同定

前報の準備段階で著者が同定できなかった標本、前報の発表後に著者自身が誤同定に気づくかまたは他の研究者から誤同定の可能性の指摘を受けた標本について、再同定を行った。再同定は原則として各分類群の専門家に依頼したが、単純な見間違いが発覚した場合や、同定の指針となる新しい文献が発表された分類群については、著者自身が行った場合がある。

#### 2.2 文献記録の調査

前報の発表後に発表されるか、前報の発表以前に発表されたもので新たに著者が入手した昆虫関係の各種雑誌、書籍から、上士幌町内で採集された甲虫類の記録を抽出した。それらの文献の個々について論評する紙面を持たないが、保田信紀氏が長年の研究を集大成して刊行した「大雪山昆虫誌」（保田、2014）は、表大雪を囲む15市町村の全昆虫のファウナを扱った、全国的にも注目すべき業績である。同書が対象とする「大雪山」には上士幌町も含まれており、同書から著者が把握していなかった多くの文献記録を抽出することができた。本報告では上士幌町内の甲虫の記録を細かく確認する過程で同書に含まれるいくつかの誤記録を指摘する結果となったが、それらの些末な誤りはこの大著の価値をいささかも損なうものではない。

前報でも述べたとおり、上士幌町の甲虫相を解明するという意図で発表される文献は少なく、町内の甲虫の記録は多数の文献中に断片的に分散している。この状況は今後も変わらないであろうことを考慮し、前報に収録されていない文献記録であれば、前報に記録されている種のものであっても収録した。文献記録の中には、採集地点の町名が省略され上士幌町内の記録であるか否かの判断に迷うもの（たとえば「然別」）があるが、それらについては上士幌町内の記録でないという何らかの根拠が見出せない限り、収録した。

また、一部の分類群においては研究の進展により、国内で長期間使用されてきた学名（換言すれば、上野ほか編著（1985）等の国内で普及している図鑑に使用

1) 〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町1-16-1-804

されている学名) が全く異なるものに変更される事例が多く見られる。特にハネカクシ科については、「日本産ハネカクシ科総目録」(柴田ほか, 2013) の発表により, 日本産の2262種(アリヅカムシ科, デオキノコムシ科, コケムシ科を含む) の半数程度の種について, 属名・種名・和名のいずれか1つ以上が前報発表時点の知見から変更されていることが示された。このことは, 特に昆虫を専門としない自然史研究者にとって, 学名変更後に記録された種とそれ以前に記録された種の異同を判別するために多大の労力を要する結果につながる。この点を考慮し, 新しい採集データの記録でなくても, 既記録種の学名の変更は気が付く限り収録した。原則として別表1の確認種目録内に種毎に注記したが, ハネカクシ科は変更が特に多いため別表3としてまとめて記載した。

### 2.3 著者による追加現地調査

前報の発表後に著者が上土幌町で調査を行ったのは, 2011年7月5日の1回(糠平湖右岸) だけである。この日は天気が悪く調査時間も正味4時間程度であったため採集できた種数・個体数は少なかった。しかし少数ながら興味深い種も得られたので, この日の採集品で種まで同定できたものを合わせて収録する。

## 3. 調査の結果

### 3.1 追加種等の目録

新しい文献記録の発表・発見, 誤同定・未同定標本の同定等によって新たに上土幌町のファウナに加えられる甲虫の種の目録を, 別表1に示した。別表1では, 科毎に以下の3部構成で種を配列している。

#### a. 誤同定の訂正

前報における同定が誤っていた以下の5種を削除し, 再同定結果を示した。

(ハネカクシ科) (誤) *Nudobius apicipennis* SHARP  
ツマキツヤナガハネカクシ→(正) *Nudobius pleuralis* (SHARP) クロバネナガハネカクシ

(コガネムシ科) (誤) *Mimela costata* HOPE オオスジコガネ→(正) *Mimela testaceipes* MOTSCHULSKY スジコガネ

(タマムシ科) (誤) *Agrilus insuspectus* OBENBERGER  
ミドリツヤナガタマムシ→(正) *Agrilus ogatai* OHMOMO  
オガタナガタマムシ *Agrilus ribbei* KIESENWETTER,  
ホソアシナガタマムシおよび *Agrilus adelphinus*

KERREMANS ニセホソアシナガタマムシ

(ミジンムシ科) (誤) *Corylophus japonicus*

MATTHEWES ダエンミジンムシ→(正) *Orthoperus sibiricus* BOWESTEAD (和名なし)

(オトシブミ科) (誤) *Involvulus pilosus* (ROELOFS)

ヒメケブカチョッキリ→(正) *Neocoenorrhinus interruptus* (VOSS) ヤナギルリチョッキリ

削除された種の代わりに再同定された種が加わるので基本的には記録種数は増減しないが, ツマキツヤナガハネカクシは *Nudobius pleuralis* (SHARP) クロバネナガハネカクシの同物異名として抹消されたので, 1種減となる。

#### b. 追加種

新しい文献記録の発表・発見, 未同定標本の同定等によって新たに上土幌町のファウナに加えられる種を示した。

#### c. 既記録種の追加記録等

前報において既に上土幌町から記録されている種のうち, 新しい文献記録が発表・発見された種を示した。新しい文献記録が, 前報で記録がなかった植生帯からの記録である場合はその旨を注記した。

別表1に収録された種の科までの配列は「日本産野生生物目録。無脊椎動物編II」(環境庁自然保護局野生生物課編, 1995) に, それ以下の配列は原則として保育社の「原色日本甲虫図鑑. I~IV」による。

別表1において各種内の記録の配列方法は, 前報と同じく次の規則によった。

- 1) 音更川本流に対し, より上流で合流する谷筋を先, 下流で合流する谷筋を後。
- 2) 同じ谷筋内で, 高標高地を先, 低標高地を後。
- 3) 同じ採集地点については, 発表年または採集年月日が古いものを先, 新しいものを後。

新しい文献記録の中には, 同定に疑問の余地があるものが含まれている。発表者への照会により誤りが確認できた記録と, 真偽を確認できないが現在の甲虫学の知見から判断して誤りの可能性が非常に高いと判断した記録については別表1から除外し, 別表2の上土幌町から記録されているが同定に疑問がある種の目録に記載した。

### 3.2 科別の種数と分布型別の種構成

著者らは前報において、上士幌町から記録された甲虫の総種数、標高帯別の記録種数、分布パターン別の種数を科別に集計し、一覧表に示した。今回新たに記録された種を追加して改訂した一覧表を、前報と同じ形式で表1に示す。

標高帯の区分は前報と同じで、高山帯、針葉樹林帯、混交林帯、広葉樹林帯とした。それぞれに属する調査地点名は前報を参照されたい。分布パターンの区分も前報と同じで、以下のとおりである。

A型：国内で北海道、本州、四国、九州の4島全てに分布する種。一般に多様な環境に適応したいわゆる「普通種」であり、北海道では地域の温暖度の指標となり得ると考えられる。

B型：国内で「北海道・本州」または「北海道・本州・四国または九州」の分布を示す種（北海道と本州以南で亜種が異なる種を含める）。一般に山地・寒冷地を特徴づける種である。

C型：北海道固有または国内では北海道のみに分布する種（「北海道・対馬」の分布を含める）。北海道内での地域の寒冷度の指標となり得ると考えられる。

個々の種がいずれに該当するかは、上野ほか編著(1985)、黒澤ほか編著(1985)、林ほか編著(1984)の図鑑、日本産昆蟲総目録(平嶋, 1989)、個々の種の原記載等により判定した。前報執筆時点以降に、新しい文献の発表等によってより信頼性が高い分布範囲の情報が得られた種については、その情報に基づいて所属する分布パターンを変更し、表1に反映させた。

表1に示すとおり、上士幌町から記録された甲虫類は92科1403種である。

分布パターンの構成は以下のとおりで、前報からほとんど変化しなかった。( )内は分布型が不明な29種を分母から除いた率である。

A型：48.8% (49.9%)

B型：32.6% (33.3%)

C型：16.5% (16.9%)

### 3.3 種数が多い科の順位付け

著者らは前報において、上士幌町から記録された甲虫の中で種数が多い科を順位付けし、道全体と対比できる一覧表に示した。今回新たに記録された種を追加して改訂した一覧表を、前報と同じ形式で表2に示す。表2で種数上位20科までに入った科とその序列は、ハ

ナノミ科が15位に加わったことを除けば、前報と全く同じとなった。

## 4. 考察

今回の報告により、上士幌町から記録された甲虫の種数は1403種となった。前報以降に新たに確認された科はないが、種数では前報に対して37種の増加となった。この種数は前報発表時点における上川町の記録種数を上回るが、2014年現在の上川町の記録種数（保田, 2014から著者が抽出）は1429種に増加しており、道内の市町村単位での甲虫の記録種数における上川町の首位（上士幌町が2位）は変わらない。しかし1403種という記録種数は全国的に見ればむしろ低い水準である。前報でも述べたとおり、上士幌町の甲虫の中で生息種の解明度が高いと思われるのは愛好者が多いカミキリムシ科だけで、その他の科の調査は不十分である。平野(2004)は、甲虫の科全般にわたって解明度が高い神奈川県における各科の種の構成比に基づき、「1地域の甲虫の生息種数に占めるカミキリムシの生息種数が6.71%である」との経験則を示した。平野は、甲虫全般の調査が不十分だがカミキリムシの生息種数かなりの精度で調査されている地域について、上記の経験則による比例計算によって甲虫全体の生息種数を推定できるとしている。平野の方法によって上士幌町に対して推定を行った結果を、表3に示す。

表3に示すとおり、上士幌町における甲虫全般の調査精度がカミキリムシ科の水準まで向上すれば、甲虫全体の記録種数は1923種となる。平野は、上記の経験則が適用できると考えられるのは本州・四国・九州であるとし、北海道や沖縄に当てはまるかはわからないと述べている。しかし著者が上士幌町と本州各地で甲虫を採集した経験では、単位努力量当たり捕獲種数に占めるカミキリムシの比率において上士幌町と本州各地に特段の差はない。おそらく上士幌町においては、調査の進展によって少なくとも2000種程度の甲虫の生息が確認されるであろう。

分布パターンの構成では、日本の4主島全てに分布するA型の種が48.8%と最多を占める一方で、北海道特産または国内では北海道にしか産しないC型の種が16.5%を占めた。前報で述べたとおりこのC型の種の比率は調査できた限りの北海道の地域甲虫目録の中で最も高く、上士幌町が北方系・寒地性の種が多く生息する貴重なフィールドであることが改めて示された。

表1. 上士幌町から記録された甲虫の科別・生息環境別・分布型別種類数

科名	上士幌町(今回報告)								上川町 (*1)	北海道 全体 (*2)	
	全体	高山帯	針葉林	混交林	広葉林	(分布型)					
						A	B	C			
CUPEDIDAE	ナガヒラタムシ科	0							0	1	
RHYSODIDAE	セスジムシ科	1	0	0	1	1	0	0	1	3	
OMOPHRONIDAE	カワラゴミムシ科	0							1	1	
CICINDELIDAE	ハンミョウ科	5	1	2	4	1	4	1	0	3	8
CARABIDAE	オサムシ科	159	35	61	114	102	79	41	39	191	357
BRACHINIDAE	ホソクビゴミムシ科	1	0	0	1	1	1	0	0	1	4
HALIPLIDAE	コガシラミズムシ科	2	0	1	1	1	2	0	0	2	5
NOTERIDAE	コツブゲンゴロウ科	0								0	2
DYTISCHIDAE	ゲンゴロウ科	18	0	16	9	12	6	7	5	24	54
GYRINIDAE	ミズスマシ科	4	0	2	3	2	2	1	1	1	6
HYDRAENIDAE	ダルマガムシ科	2	0	2	0	1	0	2	0	1	8
GEORISIDAE	マルドロムシ科	2	0	2	0	0	0	1	1	0	2
HELOPHORIDAE	セスジガムシ科	1	0	1	0	1	0	0	1	2	2
HYDROPHILIDAE	ガムシ科	11	1	5	5	9	7	4	0	13	31
SPHAERITIDAE	エンマムシダマシ科	0								1	1
SYNTELIIDAE	エンマムシモドキ科	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1
HISTERIDAE	エンマムシ科	16	0	4	9	8	10	5	1	9	53
PTILIIDAE	ムクゲキノコムシ科	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4
LEIODIDAE	タマキノコムシ科	9	0	5	4	4	5	4	0	10	14
CATOPIIDAE	チビシデムシ科	3	2	1	2	0	0	2	1	9	11
SILPHIDAE	シデムシ科	15	3	7	14	7	7	5	3	15	23
STAPHYLINIDAE	ハネカクシ科	193	31	93	76	90	74	61	34	187	333
PSELAPHIDAE	アリツカムシ科	5	0	4	0	2	0	5	0	1	14
SCYDMAENIDAE	コケムシ科	2	0	2	0	0	0	0	2	4	5
SCAPHIDIIDAE	デオキノコムシ科	6	0	4	3	4	2	4	0	2	9
CLAMBIDAE	タマキノコムシモドキ科	0								0	2
EUCINETIDAE	マルハナノミダマシ科	0								0	1
SCIRTIDAE	マルハナノミ科	11	0	9	9	3	3	3	5	12	15
RHIPICERIDAE	クシヒゲムシ科	0								0	1
LUCANIDAE	クワガタムシ科	7	0	4	6	7	7	0	0	7	10
TROGIDAE	コブスジコガネ科	2	0	1	0	1	1	1	0	1	8
GEOTRUPIDAE	センチコガネ科	2	0	2	2	2	2	0	0	1	3
SCARABAEIDAE	コガネムシ科	41	3	19	29	29	34	5	2	53	95
BYRRHIDAE	マルトゲムシ科	7	3	5	3	3	0	4	3	6	10
PTILODACTYLIDAE	ナガハナノミ科	0								2	3
CHELONARIIDAE	ダエンマルトゲムシ科	0								0	1
PSEPHENIDAE	ヒラタドロムシ科	0								0	1
ELMIDAE	ヒメドロムシ科	0								1	2
DRYOPIDAE	ドロムシ科	0								0	1
LIMNICHIDAE	チビドロムシ科	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
HETERO CERIDAE	ナガドロムシ科	0								0	1
BUPRESTIDAE	タマムシ科	22	0	18	12	6	11	5	6	25	50
ELATERIDAE	コメツキムシ科	70	10	47	39	20	26	21	23	81	161
THROSCIDAE	ヒゲブトコメツキ科	3	0	1	1	1	1	0	2	0	2
EUCNEMIDAE	コメツキダマシ科	11	0	6	7	3	7	4	0	9	26
LYCIDAE	ベニボタル科	16	0	11	14	3	6	9	1	16	24
LAMPYRIDAE	ホタル科	2	0	1	2	1	1	1	0	4	4
OMETHIDAE	ホタルモドキ科	0								0	1
CANTHARIDAE	ジョウカイボン科	25	13	15	15	10	5	7	13	25	44
DERODONTIIDAE	マキムシモドキ科	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2
NOSODENDRIDAE	ヒメトゲムシ科	0								0	2
DERMESTIDAE	カツオブシムシ科	6	0	2	4	5	3	2	1	6	15
BOSTRYCHIDAE	ナガシクイムシ科	1	0	0	0	1	0	1	0	0	4
ANOBIIDAE	シバンムシ科	7	0	2	1	5	1	5	1	4	16
PTINIDAE	ヒョウホンムシ科	1	0	0	1	1	1	0	0	1	2
TROGOSSITIDAE	コクヌスト科	5	0	5	5	3	3	2	0	5	11
CLERIDAE	カッコウムシ科	4	0	3	3	2	2	2	0	2	14

科名	上 士 幌 町 (今回報告)								上川町 (*1)	北海道 全体 (*2)	
	全体	高山帯	針葉林	混交林	広葉林	(分布型)					
						A	B	C			
MELYRIDAE	ジョウカイモドキ科	5	1	4	4	2	3	1	1	5	7
LYMEXYLONIDAE	ツツシクイムシ科	2	0	2	2	0	1	1	0	2	2
NITIDURIDAE	ケシクスイ科	53	2	20	32	33	36	11	2	37	72
RHIZOPHAGIDAE	ネスイムシ科	4	3	2	2	3	2	2	0	3	7
PHALACRIDAE	ヒメハナムシ科	3	0	1	0	3	1	0	1	2	6
SPHINDIDAE	ヒメキノコムシ科	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
CUCUJIDAE	ヒラタムシ科	2	0	2	1	1	1	1	0	3	6
LAEMOPHLOEIDAE	チビヒラタムシ科	2	0	0	1	2	0	2	0	3	9
SILVANIDAE	ホソヒラタムシ科	7	0	4	4	6	5	0	2	3	5
CRYPTOPHAGIDAE	クスイムシ科	10	0	3	1	8	2	6	1	9	19
HELOTIDAE	オオクスイムシ科	1	0	0	0	1	0	1	0	1	2
BYTURIDAE	クスイモドキ科	1	0	1	1	1	0	0	1	2	1
LANGURIIDAE	コメツキモドキ科	3	0	1	2	3	1	2	0	4	6
EROTYLIDAE	オオキノコムシ科	16	0	10	11	9	11	4	1	14	30
CERYLONIDAE	カクホソカタムシ科	2	0	1	2	1	2	0	0	0	4
CORYLOPHIDAE	ミジンムシ科	2	0	0	1	3	1	1	1	2	1
ENDOMYCHIDAE	テントウムシダマシ科	6	0	3	5	5	4	2	0	6	15
MYCHOTHENIDAE	マルテントウダマシ科	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1
COCCINELLIDAE	テントウムシ科	31	8	20	25	20	23	5	3	28	50
DISCOLOMIDAE	ミジンムシダマシ科	0								0	0
LATHRIDIIDAE	ヒメマキムシ科	7	0	4	3	7	4	2	1	6	9
COLYDIIDAE	ホソカタムシ科	3	0	1	2	2	1	2	0	3	6
BOTHRIDERIDAE	ムキヒゲホソカタムシ科	0								0	1
PROSTOMIDAE	デバヒラタムシ科	2	0	1	1	0	1	1	0	2	2
MYCETOPHAGIDAE	コキノコムシ科	10	0	6	6	8	8	2	0	6	15
CIIDAE	ツツキノコムシ科	16	0	1	14	6	12	3	1	11	27
TETRATOMIDAE	キノコムシダマシ科	2	0	1	2	1	1	0	1	1	4
MELANDRYIDAE	ナガクチキムシ科	31	0	24	15	12	15	13	3	25	50
MORDELLIDAE	ハナノミ科	16	0	6	6	12	8	7	1	8	39
RHIPHORIIDAE	オオハナノミ科	1	0	1	1	0	0	1	0	1	6
SYNCHROIDAE	ヒラタナガクチキムシ科	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1
CEPHALOIDAE	クビナガムシ科	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1
OEDEMERIDAE	カミキリモドキ科	15	1	8	13	8	8	7	0	15	22
PYTHIDAE	キカワムシ科	2	0	2	1	0	0	2	0	2	2
PYROCHROIDAE	アカハネムシ科	4	0	2	4	1	2	2	0	4	7
ANTHICIDAE	クビボソムシ科	5	0	1	2	4	4	1	0	4	18
ADERIDAE	ニセクビボソムシ科	2	0	2	0	0	1	1	0	2	4
MELOIDAE	ツチハンミョウ科	4	0	0	4	0	1	3	0	3	5
SCRAPTIDAE	ハナノミダマシ科	3	0	3	2	2	1	2	0	4	6
SALPINGIDAE	チビキカワムシ科	7	0	3	2	3	1	6	0	6	12
BORIDAE	ツヤキカワムシ科	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
LAGRIIDAE	ハムシダマシ科	2	0	1	2	2	1	1	0	3	0
ALLECULIDAE	クチキムシ科	3	0	2	1	1	2	0	1	3	0
TENEBRIONIDAE	ゴミムシダマシ科 (*3)	22	0	9	12	16	13	5	4	19	64
CERAMBYCIDAE	カミキリムシ科	129	9	107	99	68	71	37	21	142	241
CHRYSOMELIDAE	ハムシ科	113	9	57	84	66	66	29	18	121	203
ANTHRIBIDAE	ヒゲナガゾウムシ科	9	0	6	4	3	6	2	1	8	32
ATTELABIDAE	オトシブミ科	15	4	6	11	5	5	7	3	19	33
BRENTIDAE	ミツギリゾウムシ科	0								0	1
APIONIDAE	ホソクチゾウムシ科	5	1	1	1	2	1	4	0	4	8
CURCULIONIDAE	ゾウムシ科	101	18	49	62	48	34	50	17	104	206
RHYNCOPTERIDAE	オサゾウムシ科	1	0	1	1	1	1	0	0	2	6
PLATYPODIDAE	ナガクイムシ科	0								0	5
SCOLYTIDAE	クイムシ科	13	4	5	7	6	5	7	1	34	116
合計	種数	1403	163	751	862	743	685	457	232	1429	2881
構成	比 (%) (*4)		11.6	53.5	61.4	53.0	48.8	32.6	16.5		
科	数			92						87	108

\*1: 保田(2014) \*2: 保田・大原(2002) \*3: 北海道全体の64種にはハムシダマシ科とクチキムシ科が含まれる。

\*4: 分布型が不明な29種があるため、分布型別構成比の合計は100%に満たない。

表2. 種類数の多い科の順位と、北海道全体との比較

上 士 幌 町 (今回報告)					北 海 道 全 体 (保田・大原, 2002)			
順位	科 名	種 数 a	構成比 (%)	a/b (%)	順位	科 名	種 数 b	構成比 (%)
1	ハネカクシ科	193	13.8	58.0	1	オサムシ科	357	12.4
2	オサムシ科	159	11.3	44.5	2	ハネカクシ科	333	11.6
3	カミキリムシ科	129	9.2	53.5	3	カミキリムシ科	241	8.4
4	ハムシ科	113	8.1	55.7	4	ゾウムシ科	206	7.2
5	ゾウムシ科	101	7.2	49.0	5	ハムシ科	203	7.0
6	コメツキムシ科	70	5.0	43.5	6	コメツキムシ科	161	5.6
7	ケシクスイ科	53	3.8	73.6	7	クイムシ科	116	4.0
8	コガネムシ科	41	2.9	43.2	8	コガネムシ科	95	3.3
9	テントウムシ科	31	2.2	62.0	9	ケシクスイ科	72	2.5
9	ナガクチキムシ科	31	2.2	62.0	10	ゴミムシダマシ科	64	2.2
11	ジョウカイボン科	25	1.8	56.8	11	ゲンゴロウ科	54	1.9
12	タマムシ科	22	1.6	44.0	12	エンマムシ科	53	1.8
13	ゴミムシダマシ科	22	1.6	34.4	12	タマムシ科	50	1.7
14	ゲンゴロウ科	18	1.3	33.3	12	テントウムシ科	50	1.7
15	エンマムシ科	16	1.1	30.2	15	ナガクチキムシ科	50	1.7
15	ベニボタル科	16	1.1	66.7	16	ジョウカイボン科	44	1.5
15	オオキノコムシ科	16	1.1	53.3	17	ハナノミ科	39	1.4
15	ツツキノコムシ科	16	1.1	59.3	18	オトシブミ科	33	1.1
15	ハナノミ科	16	1.1	41.0	19	ヒゲナガゾウムシ科	32	1.1
20	シテムシ科	15	1.1	65.2	20	ガムシ科	31	1.1
20	カミキリモドキ科	15	1.1	68.2	21	オオキノコムシ科	30	1.0
20	オトシブミ科	15	1.1	45.5	22	ツツキノコムシ科	27	0.9
	クイムシ科	13	0.9	11.2	25	シテムシ科	23	0.8
	ガムシ科	11	0.8	35.5	26	カミキリモドキ科	22	0.8
	その他68科	246	17.5			その他84科	495	17.2
	合 計	1403	100.0	48.7		合 計	2881	100.0

表3. 上士幌町に生息する甲虫の推定種数

	神奈川県 (平野, 2004)	上士幌町 (今回報告)
甲虫記録種数	4127	1403
カミキリムシ記 録種数(構成比)	277 (6.71%)	129 (9.19%)
甲虫推定生息種数	—	1923

種数が多い科では、北海道全体で上位20科に入る科の中で前報において上士幌町では上位20科に入らなかった科のうち、ハナノミ科が15位に上がり、道全体での順位に近づいた。ハナノミ科はクイムシ科とともに、種の同定が困難であるため、実際の生息種数に比べて記録種数が少なくなっていたが、今回専門家の同定によって多くの種を追加できた。それができなかったクイムシ科については道全体での順位との乖離が解消されなかった。

以上のように、著者自身による調査によって多くの種を追加することはできなかったが、多くの新しい文

献記録を確認することができ、上士幌町の甲虫相の解明が一步進んだと言える。前報以降の5年間に上士幌町の甲虫相全般の解明を目的とする文献は発表されていないと思われるが、後掲する多数の文献に上士幌町で採集された標本が使用されたという事実は、上士幌町の甲虫相の豊富さとそれが昆虫学の進歩に与える恩恵の大きさを示すものであると考える。

## 謝 辞

本報告をまとめるに際し、多くの方々にご支援をいただいた。古川恒太博士(いであ株式会社)、伊藤建夫氏(八幡市)、小島弘昭博士(東京農業大学)、宮田達美氏(札幌市)、直海俊一郎博士(千葉市)、尾崎俊寛博士(大館市)、斎藤修司氏(福島市)、鶴智之博士(自然環境研究センター)、吉富博之博士(愛媛大学)には、前報中の誤同定の可能性をご指摘いただき、または標本の一部を同定していただいた。乙幡康之氏と須田修氏(ひがし大雪自然館)には、館蔵標本の借用

と文献の入手に便宜を図っていただいた。丸山宗利博士(九州大学総合研究博物館)にはハネカクシの学名について、水野弘造氏(宇治市)には、コメツキムシの学名について、西川正明氏(海老名市)にはシデムシの学名について、それぞれご教示いただいた。保田信紀氏(北海道自然史研究会)には、文献の入手に便宜を図っていただくとともに、「大雪山昆虫誌」中の甲虫の記録について種々ご教示をいただいた。久保田耕平博士(東京大学大学院)、根本圭介博士(東京大学大学院)、山本周平氏(九州大学大学院)には文献の入手に便宜を図っていただいた。著者は、これらの方々から心からお礼を申しあげる。

#### 参考文献 (\*は直接見ることができなかったもの)

- \*Ehara, S. (1951) Histological structures of male gonads of some Cerambycid-beetles, with remarks on their systematic relations. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. VI. Zool.*, 10(1/2): 266-270, 1pl.
- \*Ehara, S. (1954) Comparative anatomy of male genitalia in some Cerambycid beetles. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. VI. Zool.*, 12(1/2): 61-115.
- Furukawa, K. (2012) A revision of the Genus *Orthoperus* Stephens (Coleoptera: Corylophidae) from Japan. *Insecta Matsumurana. n. s.*, 68: 1-16.
- 芳賀馨 (1993) 上士幌町上士幌駅跡土場で採集された甲虫。その多様性と生態学的意義について。上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (15): 1-39.
- 芳賀馨 (1998) ウペペサンケ山高山帯における甲虫類相について。上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (20): 35-59.
- 芳賀馨・柴多浩一・伊藤勝彦・川辺百樹 (2010) 上士幌町の甲虫類。上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (32): 1-236.
- 平嶋義宏監修 (1989) 日本産昆虫総目録. I. 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター。
- 林匡夫・森本桂・木本新作編著 (1984) 原色日本甲虫図鑑 (IV)。保育社, 東京。
- 平野幸彦 (2004) コウチュウ目。神奈川県昆虫誌。pp. 335-835. 神奈川県昆虫談話会。
- 平野幸彦 (2013) 日本産ヒゲブトコメツキ科について。神奈川県虫報, (180): 27-31.
- 石浜宣夫・国本晋輔 (1994) 北海道産カミキリムシ科採集記録。蝦夷白蝶, 15: 1-77.
- 上士幌町 (1996a) 8. 昆虫類-コウチュウ, バッタ, チョウ。十勝三股集団施設地区自然環境基礎調査報告書。pp. 140-150, 上士幌町。
- 上士幌町 (1996b) 表3-2-37 貴重種・注目種一覧表(昆虫)。十勝三股集団施設地区自然環境基礎調査報告書。pp. 181, 上士幌町。
- 河合秀樹 (2015) ドロノキに集まったホソコバナカミキリ。月刊むし, (534): 54-55.
- 環境庁自然保護局野生生物課編 (1995) 日本産野生生物目録。無脊椎動物編II。自然環境研究センター, 東京。
- Kimoto, S. (1965) The Chrysomelidae of Japan and the Ryukyu Islands, IX. Subfamily Alticinae II. *J. Fac. Agr. Kyushu Univ.*, 13: 431-459.
- \*Kishii, T. (1977) Elaterid beetles from Europe collected by Mr. A. Shinohara, with descriptions of some new forms and notes. *Bull. Heian High School*, (21): 19-34.
- Kishii, T. (1987) A taxonomic study of the Japanese Elateridae (Coleoptera), with the keys to the subfamilies, tribes and genera. Publication on the author's account, Kyoto.
- \*Kôno, H. (1938) Neue und wenig bekannte Ipiden als Schädlinge an Sachalintannen und Ezofichten in Hokkaido. *Ins. Mats.* 12 (2/3): 64-73.
- 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編著 (1985) 原色日本甲虫図鑑 (III)。保育社, 東京。
- Kuboki, M. (2009) Notes on the Lepturine Genus *Pidonia* (Coleoptera: Cerambycidae) from East Asia IX. Redescription of *Pidonia kurosawai*, new status. *Ent. Rev. Japan*, 64: 139-147.
- \*Maruyama, M. (2000) A revision of the Japanese species of the genus *Drusilla* LEACH (Coleoptera: Staphylinidae, Aleocharinae). *Ent. Science*, 3 (2): 351-366.
- 松本英明・堀繁久・佐々木恵一・柏崎昭 (2012) 北海道のテントウムシ科。 *jezoensis*, (38): 39-76.
- \*Mizota, K. (1999) A revision of the genus *Indasclera* in Japan (Coleoptera, Oedemeridae). *Ins. Matsum. n. s.*, 56: 69-94.
- 水野弘造 (2011) ナガクチキムシ類。大阪市立自然史

- 博物館所蔵甲虫類目録(1). pp. 125-197. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 水野弘三・岸井尚(2014) コメツキムシ科(1). 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(3). pp. 113-198. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 水野弘三・岸井尚・有本久之(2015) コメツキムシ科(2). 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(4). pp. 9-70. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 宮下公範(1996) 音更川上流域の甲虫類. *Antenna*, 3:21-44.
- 村野宏樹(2015) 北海道におけるハムシ科 *Chrysomela* 属の採集記録. 蝦夷白蝶, 19:54-56.
- Nakane, T., Sawada, K. (1956) On the genus *Philydrodes* Bernhauer in Japan, with descriptions of a new subgenus and several new species. *Sci. Rep. Saikyo Univ.* 2 (3) : A181-186, 1pl.
- Nakane, T. (1966-67) New or little known Coleoptera from Japan and its adjacent regions. XXIV. *Fragmenta Coleopterologica*, Pars 16: 64-Pars 17: 69.
- 中谷正彦・平間裕介・松本堅一(2010) コウチュウ目. SYLVICOLA別冊, (IV) (摩周湖昆虫類調査報告書):47-66.
- 中山紘一(2011a) 小島圭三氏のカミキリ標本リスト(I). げんせい, (87) : 29-41.
- 中山紘一(2011b) 小島圭三氏のカミキリ標本リスト(II). げんせい, (88) : 3-14.
- 中山紘一(2012) 小島圭三氏のカミキリ標本リスト(III). げんせい, (89) : 3-14.
- 中山紘一(2014) 小島圭三氏のカミキリ標本リスト(IV). げんせい, (90) : 3-15.
- Naomi, S.-I., Nomura, S. (2015) Two new species of the genus *Stenus* Latreille (Coleoptera, Syaphylinidae), with the first record and redescription of *S. bifoveolatus* Gyllenhal from Japan. *Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser. A*, 41 (1) : 55-62.
- 西川正明(2014) シデムシ科. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(3). pp. 5-46. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 西川正明・池田紘士・曾田貞滋(2015a) 潜在分布推定に用いたヒラタシデムシ亜科8種の採集データの記録(1). 神奈川虫報, (185) :79-87.
- 西川正明・池田紘士・曾田貞滋(2015b) 潜在分布推定に用いたヒラタシデムシ亜科8種の採集データの記録(2). 神奈川虫報, (187) :18-27.
- 野村周平・平野幸彦(2014) これは一体何だ?! カギツメヒゲブトコメツキ(ヒゲブトコメツキ科)の中脚附節の走査型電子顕微鏡による観察. さやばね. ニューシリーズ, (13) :17-20.
- 野村周平・丸山宗利(2011) 日本初記録の好蟻性甲虫コブヒゲアリヅカムシ(和名新称)(ハネカクシ科アリヅカムシ亜科). さやばね. ニューシリーズ, (4) : 28-31.
- 大林延夫・新里達也共編(2007) 日本産カミキリムシ. 東海大学出版会, 秦野.
- \*大平仁夫(1988) 日本産ミズギワコメツキ亜科の属の分類について. 越佐昆虫同好会々報, (66) :3-17.
- Ôhira, H. (1986) Two new species and a new subspecies of Elateridae from Japan (Coleoptera). *Pap. Ent. pres. Nakane, Tokyo*, pp. 213-218.
- \*Ôhira, H. (1997) Notes on *Paracardiophorus pullatus* and its allied species from Japan (Coleoptera: Elateridae). *Miscellaneous Reports of the Hiwa Museum for Natural History, Hiroshima*, 35: 1-16.
- 大桃定洋・福富宏和(2013) 日本産タマムシ大図鑑. むし社, 東京.
- Růžička, J. (2002) Taxonomic and nomenclatorial notes on Palaearctic Silphinae (Coleoptera: Silphidae). *Acta Soc. Zool. Bohem.*, 66:303-320.
- \*Sawamoto, T. (1940) Über die Schwarzkiefern Borkenkäfer in Hokkaido (Beiträge zur Kenntnis der Japanischen Borkenkäfer, II). *Ins. Mats.* 14 (4) :141-148.
- 柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田孝・渡辺泰明・山本周平(2013) 日本産ハネカクシ科総目録(昆虫綱:甲虫目). 九州大学総合研究博物館研究報告, (11) :69-218.
- 初宿成彦(2011) ゲンゴロウ上科. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(1). pp. 3-28. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- Smetana, A. (2002) On some species of the genus *Quedius* STEPHENS, 1829 from Hokkaido, Japan (Coleoptera, Staphylinidae, Staphylinini, Quediina). *Jpn. J. syst. Ent.* 8 (1) : 7-12.
- 高橋敏(2011) ゴミムシダマシ科. 大阪市立自然史博



- 物館所蔵甲虫類目録(1). pp. 29-102. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 高橋徹(2012a) Carabidae (exclusive of Carabinae & Cicindelinae). ゴミムシ類. Part C. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(2). pp. 57-170. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 高橋徹(2012b) Chrysomelidae. ハムシ科 (exclusive of Bruchinae and Donaciinae). 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(2). pp.239-372. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 高橋徹(2015) Family Coccinellidae. テントウムシ科. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(4). pp. 71-145. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 高橋徹・春沢圭太郎(2014) コガネムシ科: 食糞群. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(3). pp. 47-100. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- Toki, W., Kubota, K.. (2010) Molecular phylogeny based on mitochondrial genes and evolution of host plant use in the long-horned beetle Tribe Lamiini (Coleoptera: Cerambycidae) in Japan. *Molecular Ecology and Evolution*, 39 (4) : 1336-1343.
- Takizawa, H. (2007) A revision of the genus *Gonioctena* Chevrolat in Japan (Coleoptera: Chrysomelidae). *Insecta Matsumurana, n. s.* 63: 35-50.
- 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝編著(1985) 原色日本甲虫図鑑(II). 保育社, 東京.
- Yahiro, K. (1990) A comparative morphology of the alimentary canal in the adults of ground-beetles (Coleoptera). I. Classification into the types. *ESAKIA, Special Issue*, (1) : 35-44.
- Yamamoto, S. (2013) Taxonomic study on *Sepedophilus wankowiczi* (Pandellé, 1869) from Japan, with a note on its specific name in the previous records (Coleoptera, Staphylinidae, Tachyporinae). *Jpn. J. syst. Ent.*, 19 (1) : 57-63.
- Yamamoto, S., Maruyama, M. (2013) Revision of the Subgenus *Coprochara* Mulsant & Rey of the Genus *Aleochara* Gravenhorst from Japan (Coleoptera: Staphylinidae: Aleocharinae). *Zootaxa*, 3641 (3) : 201-222.
- 山之内統(1975) 天宝山の昆虫相. ひがし大雪博物館友の会会報, (1) : 33-61.
- 保田信紀(2006) 糖蜜トラップによる大雪山の甲虫類相調査. XXIV. 東大雪山系ウペペサンケ山. 層雲峡ビジターセンター研究報告, (26) : 1-7.
- 保田信紀(2014) 大雪山昆虫誌. 北海道自然史研究会, 札幌.
- 安井通宏(2012) Carabidae (exclusive of Carabinae & Cicindelinae). ゴミムシ類. Part B. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(2). pp. 37-56. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 安井通宏・初宿成彦(2012) Carabidae (exclusive of Carabinae & Cicindelinae). ゴミムシ類. Part A. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(2). pp. 6-36. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 吉武啓・栗原隆・吉松慎一・中谷至伸・安田耕司(2011) 農業環境技術研究所所蔵の土生翅虫コレクション(昆虫綱: コウチュウ目: オサムシ科) 標本目録. 農業環境技術研究所報告, (28) : 1-327.
- 吉富博之(2002) 日本産マルハナノミの解説. 昆虫と自然, 37 (13) : 32-35.
- Yoshitomi, H. (2005) Systematic revision of the family Scirtidae of Japan, with phylogeny, morphology and bionomics (Insecta: Coleoptera, Scirtoidea). *Jpn. J. syst. Ent. Monographic Series*, (3) : 1-212.
- 吉富博之(2015) チビマルハナノミ属 *Cyphon* の解体. さやばね. ニューシリーズ, (17) : 9-10.

## Summary

The author published an inventory of the Coleopterous species of Kamishihoro Town, Hokkaido on "Bulletin of the Higashi Taisetsu Museum of Natural History", the predecessor of the present journal (Haga et al., 2010). In this report, the author made the following correction and supplement for the inventory.

1. The following 5 misidentified species are eliminated and replaced by the reidentified species.

(Staphylinidae) (false) *Nudobius apicipennis* SHARP → (true) *Nudobius pleuralis* (SHARP)

(Scarabaeidae) (false) *Mimela costata* HOPE → (true) *Mimela testaceipes* MOTSCHULSKY

(Buprestidae) (false) *Agrilus insuspectus* OBENBERGER → (true) *Agrilus ogatai* OHMOMO, *Agrilus ribbei* KIESENWETTER, and *Agrilus adelphinus* KERREMANS

(Corylophidae) (false) *Corylophus japonicus* MATTHEWES → (true) *Orthoperus sibiricus* BOWESTEAD

(Attelabidae) (false) *Involvulus pilosus* (ROELOFS) → (true) *Neocoenorrhinus interruptus* (VOSS)

2. Based on the newly identified specimen, newly published or obtained literatures and the specimen collected by the author in his additional field survey, 37 species were added to the inventory.

As the result of these correction and supplement, it was made clear that 1403 species belonging to 92 families have hitherto been known from Kamishihoro Town.

## 別表1 上士幌町から記録された甲虫の目録（訂正と補遺）

館蔵標本データの採集者名に続く [ ] 内の数字は、標本番号を示す。

採集者名のうち芳賀馨は「H」と略記する。

館蔵標本以外の標本の所在は、特記なき場合は採集者保管。

## [1] CARABIDAE オサムシ科

## b. 追加種

1. *Dyschirius yezoensis yezoensis* BATES オオチビヒョウタンゴミムシ（分布：B型）

【文献記録】糠平（吉武ほか，2011）

上記の文献記録が発表されたことにより，上士幌町のファウナに追加された。

2. *Bembidion pseudolucillum* NETOLITZKY ヒラタアオミズギワゴミムシ（分布：A型）

【文献記録】糠平（吉武ほか，2011）

上記の文献記録が発表されたことにより，上士幌町のファウナに追加された。

3. *Pterostichus prolongatus* MORAWITZ オオクロナガゴミムシ（分布：B型）

【文献記録】糠平（安井・初宿，2012）

上記の文献記録が発表されたことにより，上士幌町のファウナに追加された。

## c. 既記録種の追加記録等

1. *Cychrus morawitzi* GÉHIN セダカオサムシ（分布：B型）

【文献記録】三股シンノスケ3の沢（上士幌町，1996a），三股中の川流域（上士幌町，1996a），三股（集落跡周辺）（上士幌町，1996a）

本種は前報で記録された種であるが，上記の文献記録を新たに見出した。上記文献「十勝三股集団施設地区自然環境基礎調査報告書」に含まれる甲虫の採集記録（既往文献の引用を除く）は，原則として三股駅跡を中心として中の川・シンノスケ3の沢・14の沢・標高約730mにはぼ南北に機械的に引いた直線，の4境界線に囲まれた領域内で新規に採集された標本に基づく。上記文献中の記録で採集地点が明確に判読できないものは「三股」の記録として引用した。

2. *Leptocarabus arboreus pararboreus* ISHIKAWA オクエゾクロナガオサムシ（分布：B型）

【文献記録】三股シンノスケ3の沢（上士幌町，1996a），三股14の沢（上士幌町，1996a），三股中の川流域（上士幌町，1996a）

本種は前報で記録された種であるが，上記の文献記録を新たに見出した。

3. *Leptocarabus opaculus* (PUTZEYS) ヒメクロオサムシ（分布：B型）

【文献記録】三股シンノスケ3の沢（上士幌町，1996a），三股14の沢（上士幌町，1996a），三股中の川流域（上士幌町，1996a），三股（集落跡周辺）（上士幌町，1996a）

本種は前報で記録された種であるが，上記の文献記録を新たに見出した。

4. *Procrustes kolbei aino* (ROST) アイヌキンオサムシ（分布：C型）

【文献記録】三股シンノスケ3の沢（上士幌町，1996a），三股14の沢（上士幌町，1996a），三股中の川流域（上士幌町，1996a），三股（集落跡周辺）（上士幌町，1996a）

本種は前報で記録された種であるが，上記の文献記録を新たに見出した。上記文献では本種を「貴重種」としている（上士幌町，1996b）。

5. *Damaster blaptoides rugipennis* (MOTSCHULSKY) エゾマイマイカブリ（分布：A型）

【文献記録】三股シンノスケ3の沢（上士幌町，1996a），三股14の沢（上士幌町，1996a），三股中の川流域（上士幌町，1996a），糠平（吉武ほか，2011），然別湖（町名記載なし）（吉武ほか，2011）

本種は前報で記録された種であるが，上記の文献記録が追加された。

6. *Leistus niger alecto* BATES キノカワゴミムシ（分布：B型）

【文献記録】三股シンノスケ3の沢（上士幌町，1996a），三股14の沢（上士幌町，1996a），三股中の川流域（上士幌町，1996a）

本種は前報で記録された種であるが，上記の文献記録を新たに見出した。

7. *Nebria gyllenhalii* (SCHÖNHERR) キタマルクビゴミムシ（分布：C型）

【文献記録】糠平川600-800m（安井・初宿，2012）

本種は前報で記録された種であるが，上記の文献記録が追加された。下記のエゾマルクビ・クロマルクビゴミムシの記録とともに，1967年6月19日に日浦勇氏によって採集された標本に基づく。本種は高山帯にしか生息しないと考えられてきた種で，糠平川の標高1000m未満で採集されることは従来の常識からは考え難い。しかし下記のとおり本種と同定を誤る可能性がある近隣の2種（*N. subdilatata*と*N. ochotica*）が同時に採集されていることから同定の信憑性は高いと考えられ，注目すべき記録である。

8. *Nebria subdilata* MOTSCHULSKY エゾマルクビゴミムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m (安井・初宿, 2012), 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
9. *Nebria ochotica* SAHLBERG クロマルクビゴミムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m (安井・初宿, 2012), 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
10. *Nebria shibanaii shibanaii* S.UÉNO ルリマルクビゴミムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 糠平川800m (安井・初宿, 2012), 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
11. *Eobrosicus lutshniki* (ROUBAL) ムラサキスジアシゴミムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平川800m (安井・初宿, 2012), 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
12. *Trechus ephippiatus* BATES ヒラタキイロチビゴミムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 上音更 (安井・初宿, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。安井・初宿は「土幌町上音更」と記載しているが, 町名の誤記と思われる。
13. *Tachyta nana* (GYLLENHAL) クロチビカワゴミムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m (安井, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
14. *Bembidion galloisi* NETOLITZKY ガロアミズギワゴミムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平川800m (安井, 2012), 糠平川600-800m (安井, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
15. *Bembidion dolorosum* (MOTSCHULSKY) チシマミズギワゴミムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m (安井, 2012), 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
16. *Bembidion morawitzi* CSIKI ヨツボシミズギワゴミムシ (分布: A型)  
 [追加記録] 1ex. (未熟個体), 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。
17. *Bembidion poppii pohlai* KIRSCHENHOFER カギモンミズギワゴミムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m (安井, 2012), 然別 (町名記載なし) (安井, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
18. *Bembidion tetraporum* BATES ヨツアナミズギワゴミムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平川800m (安井, 2012), 糠平川600-800m (安井, 2012), 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
19. *Bembidion daisetsuzanum* HABU et BABA ダイセツミズギワゴミムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 石狩岳1850m (町名記載なし) (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
20. *Bembidion stenoderum* BATES ドウイロミズギワゴミムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。この記録により本種が混交林帯にも生息することが確認された。
21. *Bembidion baikaloussuricum* BATES エゾドウイロミズギワゴミムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。この記録により本種が混交林帯にも生息することが確認された。

22. *Pterostichus samurai* (LUTSHNIK) エゾキンナガゴミムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
23. *Pterostichus haptoderoides japonensis* LUTSHNIK トックリナガゴミムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m (安井・初宿, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
24. *Pterostichus subovatus* (MOTSCHULSKY) マルガタナガゴミムシ (分布: B型)  
 [文献記録] ウペペサンケ山東斜面800-1000m (安井・初宿, 2012), 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
25. *Pterostichus thunbergi* MORAWITZ エゾナガ (ツンベルグナガ) ゴミムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股中の川流域 (上士幌町, 1996a), ウペペサンケ山1000m (安井・初宿, 2012), ウペペサンケ山800-1000m (安井・初宿, 2012), 糠平川 (安井・初宿, 2012), 糠平川600-800m (安井・初宿, 2012), 糠平川600m (安井・初宿, 2012), 糠平 (吉武ほか, 2011), 然別 (町名記載なし) (安井・初宿, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
26. *Pterostichus adstrictus* (ESCHSCHOLTZ) エゾマルガタナガゴミムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股中の川流域 (上士幌町, 1996a), 糠平川600-800m (安井・初宿, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
27. *Pterostichus orientalis jessoensis* TSCHITSCHÉRINE アトマルナガゴミムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m (安井・初宿, 2012), 糠平川800m (安井・初宿, 2012), 然別湖 (町名記載なし) (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
28. *Pterostichus korgei* JEDLIČKA ニッポンヒメナガゴミムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 音更山 (町名記載なし) (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
29. *Pterostichus microcephalus* MOTSCHULSKY コガシラナガゴミムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m (安井・初宿, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
30. *Platynus thoreyi nipponicus* HABU エゾヒメヒラタゴミムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。吉武ほかは本種の学名を「*Agonum subtruncatum* (MOTSCHULSKY)」としているが, その変更の根拠となる文献がわからなかったため, 本報告では従来の学名を踏襲する。
31. *Agonum impressum* PANZER セボシヒラタゴミムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m (高橋, 2012a), 糠平川 (高橋, 2012a), 然別湖 (町名記載なし) (吉武ほか, 2011)  
 [追加記録] 2♂1♀, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録が追加された。
32. *Colpodes daisetsuzanus* NAKANE ダイセツモリヒラタゴミムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股中の川流域 (上士幌町, 1996a), ウペペサンケ山東斜面800-1000m (高橋, 2012a), 糠平川800m (高橋, 2012a), 糠平川600-800m (高橋, 2012a), 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
33. *Dolichus halensis* (SCHALLER) セアカヒラタゴミムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平 (吉武ほか, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
34. *Synuchus cycloderus* (BATES) クロツヤヒラタゴミムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股中の川流域 (上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。

35. *Synuchus melantho* (BATES) コクロツヤヒラタゴミムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢(上士幌町, 1996a), 三股14の沢(上士幌町, 1996a), 三股中の川流域(上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
36. *Amara chalcites* DEJEAN マルガタゴミムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m(安井・初宿, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
37. *Anisodactylus signatus* PANZER ゴミムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m(高橋, 2012a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
38. *Chlaenius circumductus* MORAWITZ キベリアオゴミムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平(Yahiro, 1990)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。前報では上士幌町内からの本種の記録は亜寒帯・亜高山帯(三股)のもののみであったが, 上記の記録により本種が混交林帯にも生息することが確認された。
39. *Lebidia octoguttata* MORAWITZ ヤホシゴミムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 幌加600m(高橋, 2012a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
40. *Parena tripunctata* (BATES) ミツアナアトキリゴミムシ (分布:A型)  
 [追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。
41. *Dromius prolixus* BATES ホソアトキリゴミムシ (分布:A型)  
 [追加記録] 2exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。

## [2] DYTISCHIDAE ゲンゴロウ科

### b. 追加種

1. *Neonectes natrix* (SHARP) ゴマダラチビゲンゴロウ (分布:B型)  
 [文献記録] 三股(上士幌町, 1996a)  
 本種は前報に収録できなかった種で, 上記の文献記録を新たに見出した。

### c. 既記録種の追加記録等

1. *Hydroporus submuticus* THOMSON オオナガケシゲンゴロウ (分布:C型)  
 [文献記録] 三股(初宿, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
2. *Oreodytes kanoi* (KAMIYA) カノシマチビゲンゴロウ (分布:B型)  
 [文献記録] 三股(上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
3. *Ilybius nakanei* NILSSON ヨツボシクロヒメゲンゴロウ (分布:C型)  
 [文献記録] 三股(初宿, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
4. *Rhantus yessoensis* SHARP エゾヒメゲンゴロウ (分布:B型)  
 [文献記録] 三股(初宿, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
5. *Dytischus dauricus* GEBLER ゲンゴロウモドキ (分布:B型)  
 [文献記録] 三股(集落跡の湿地)(上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。

## [3] SILPHIDAE シデムシ科

### c. 既記録種の追加記録等

1. *Oiceoptoma subrufum* (LEWIS) カバイロヒラタシデムシ (分布:B型)  
 [文献記録] 糠平川600-800m(西川, 2014), 「上士幌町然別湖820m」(西川・池田・曾田, 2015b)

本種は前報で記録された種であるが、上記の文献記録が追加された。

2. *Silpha perforata* GEBLER ヒラタシデムシ (分布: C型)

〔文献記録〕 糠平川 (西川, 2014; 西川・池田・曾田, 2015b), 糠平600m (西川, 2014), 上士幌町 標高不明 (西川, 2014)

本種は前報で記録された種であるが、上記の文献記録が追加された。本種の学名は各種の図鑑では「*Silpha perforata venatoria* HAROLD」とされており、著者らも前報でそれに従ったが、西川・池田・曾田 (2015b) では上記が使用されている。西川氏のご教示によれば、「*Silpha perforata venatoria* HAROLD」はRŮŽIČKA (2002) により*Silpha perforata*の同物異名として抹消されている。

3. *Dendroxena sexcarinata* MOTSCHULSKY ヨツボシヒラタシデムシ (分布: A型)

〔文献記録〕 幌加峠 (西川・池田・曾田, 2015a)

本種は前報で記録された種であるが、上記の文献記録が追加された。「幌加峠」は「43.5674°N 143.1171°E」の地点であると記載されており、「幌鹿峠」の誤記と思われる。本種の学名は各種の図鑑では「*Xylodrepa sexcarinata* (MOTSCHULSKY)」とされており、著者らも前報でそれに従ったが、西川・池田・曾田 (2015a) では上記が使用されている。西川氏のご教示によれば、上記の学名を使用するのが適切だという。

[4] STAPHYLINIDAE ハネカクシ科 (※を付した個体は直海俊一郎同定, \*を付した個体は伊藤建夫同定)

a. 誤同定の訂正

1. (誤) *Nudobius apicipennis* SHARP ツマキツヤナガハネカクシ

(正) *Nudobius pleuralis* (SHARP) クロバネナガハネカクシ (分布: A型)

〔文献記録〕 東居辺 (芳賀ほか, 2010)

上記2種は従来相互に別種とみなされており、各種の図鑑でもそう扱われているが、柴田ほか (2013) によれば*N. apicipennis* は*N. pleuralis*に同物異名として吸収されている。前報では上記2種を2種として記録種数に計上したが、上記の訂正により記録種数が1種減となる (このことは上川町についても同じであるので、本文表-1において同町の記録種数を抽出する際に考慮した)。

b. 追加種

1. *Proteinus crassicornis* SHARP チビハバピロハネカクシ (分布: A型)

〔文献記録〕 幌加 (宮下, 1996), 三条沼 (宮下, 1996), 糠平湖左岸 (宮下, 1996)

本種は前報に収録できなかった種で、上記の文献記録を誤って引用対象から除外していた。その理由は、同じハネカクシ科の種で同じ糠平湖から記録された*Brachida clara* (WEISE) に、当時は「チビハバピロハネカクシ」という和名が重複して与えられており、著者が前報の原稿を校正する際に同じ種を重複して収録したと勘違いしたためである。*Brachida clara* (WEISE) の和名は、柴田ほか (2013) において「オチバハネカクシ」に改められている。

2. *Bolitobius parasetiger* SCHÜLKE ルイスニセキノコハネカクシ (分布: B型)

〔追加記録〕 1ex. (2016年\*), 26. VII. 2009, 糠平湖右岸5の沢北側 (増水した汀線の草本のスイーピング), H, 伊藤建夫保管  
上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので、後日伊藤氏によって本種と同定された。

3. *Stenus immarginatus* MÁKLIN キタケブカメダカハネカクシ (分布: C型)

〔追加記録〕 1♀ (2014年※), 25. VI. 2008, 東居辺 (小学校上流側居辺川河川敷, 水際の砂上), H, 直海俊一郎保管

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので、後日直海博士によって本種と同定された。直海博士によれば、本種は国内では希少種で上記の個体が3頭目の検視標本となる。

4. *Stenus depressus* PUTHZ ヒラタアシベメダカハネカクシ (分布: B型)

〔追加記録〕 2exs. (2014年※), 28. VI. 2008, 三股16の沢出合南約1km (国道脇の駐車場山側の湿地の草本のスイーピング), H; 2exs. (2014年※), 10. VII. 2004, 糠平湖右岸5の沢付近 (混交自然林床の湿地の草本のスイーピング), H; 2exs. (2014年※), 9. VII. 2005, 糠平湖右岸5の沢~平の沢 (混交自然林床の湿地の草本のスイーピング), H; 5exs. (2014年※), 28. VI. 2007, 東雲湖南岸810m (水際のスゲ等草本のスイーピング), H; 9exs. (2014年※), 29. VII. 2009, 萩ヶ岡橋直上流音更川左岸320m (ヤナギ等二次林床の湿地の草本のスイーピング), H; 1ex. (2014年※), 25. VII. 2009, 上士幌町東14線地先芽登川右岸 (放棄された牧草地の草本のスイーピング), H

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので、後日直海博士によって本種と同定された。

5. *Stenus bifoveolatus* GYLLENHAL キタアシベメダカハネカクシ (分布: C型)

〔文献記録〕 三股 (Naomi & Nomura, 2015)

上記の文献記録が発表されたことにより、上士幌町のファウナに追加された。本種は従来欧州、カフカス、ロシア、千島から知られていた種で、上記文献記録が日本初記録となる (三股の他に阿寒・美幌町産の標本に基づいて記録)。

6. *Stenus sedatus* SHARP タチゲカワベメダカハネカクシ (分布: B型)

〔追加記録〕 2exs. (2014年※), 25. VII. 2009, 上士幌町東14線地先芽登川右岸 (放棄された牧草地の草本のスイーピング), H

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので、後日直海博士によって本種と同定された。

7. *Othius rosti* BERNHAUER ロストホソハネカクシ (分布: B型)  
 [追加記録] 2exs. (2016年\*), 26. VII. 2009, 糠平湖右岸5の沢北側(増水した汀線の草本のスイーピング), H, 伊藤建夫保管  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日伊藤氏によって本種と同定された。また, 柴田ほか(2013)により上記の和名が与えられている。
8. *Heterothops rotundiceps* SHARP オオメチビツヤムネハネカクシ (分布: B型)  
 [追加記録] 1ex. (2016年\*), 26. VII. 2009, 糠平湖右岸5の沢北側(増水した汀線の草本のスイーピング), H, 伊藤建夫保管  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日伊藤氏によって本種と同定された。柴田ほか(2013)によれば本種の分布域は「本州・屋久島; 韓国」とされており, 上記の記録が北海道から最初のものとなるかもしれない。
9. *Gabrius japonicus* SHIBATA ヤマトホソコガシラハネカクシ (分布: B型)  
 [追加記録] 1ex. (2016年\*), 27. VII. 2009, 幌加音更川5の沢中又900-1047m(エゾマツ・ダケカンバ自然林内の沢岸の叩き網), H, 伊藤建夫保管  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日伊藤氏によって本種と同定された。
10. *Philonthus numata* DVORÁK キアシチビコガシラハネカクシ (分布: A型)  
 [追加記録] 2exs. (2016年\*), 1. VII. 2007, 上士幌53号地先音更川左岸 サックシュオルベツ川出合上流(牧草地内の泥質の流水の岸), H, 伊藤建夫保管; 1ex. (2016年\*), 25. VI. 2008, 東居辺 小学校上流居辺川河川敷(砂礫質の水際), H, 伊藤建夫保管  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日伊藤氏によって本種と同定された。
11. *Quedius maruyamai* SMETANA リシリツヤムネハネカクシ (分布: C型)  
 [文献記録] 三股(Smetana, 2002)  
 本種は前報に収録できなかった種で, 上記の文献記録を新たに見出した。また, 柴田ほか(2013)により上記の和名が与えられている。
- c. 既記録種の追加記録等
1. *Brathinus oculatus* LEWIS ヒョウタンヨツメハネカクシ (分布: B型)  
 [追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。本種の和名は従来「ヒョウタンハネカクシ」とされていたが, 柴田ほか(2013)によって上記に改称されている。
2. *Drusilla aino* NAKANE ニセセミゾハネカクシ (分布: B型)  
 [文献記録] 三股(Maruyama, 2000), 幌加(Maruyama, 2000)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。また前報では本種の分布型をC型としたが, 柴田ほか(2013)によって本種が本州に分布することが示されたため, B型に変更した。
3. *Stenus lewisius* SHARP ルイスナガメダカハネカクシ (分布: A型)  
 [追加記録] 6exs. (2014年\*), 1. VII. 2007, 上士幌52号地先音更川左岸320m(牧草地内の浅い流水の泥質の岸), H  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日直海博士によって本種と同定された。本種の和名は従来「ルイスメダカハネカクシ」とされていたが, 柴田ほか(2013)によって上記に改称されている。また前報では本種の分布型をB型としたが, 柴田ほか(2013)によって本種が四国に分布することが示されたため, A型に変更した。
4. *Stenus mammops* CASEY キタヒメメダカハネカクシ (分布: C型)  
 [追加記録] 1♂ (2014年\*), 8-9. VII. 2004, 三股4の沢源頭稜線1680m(ハイマツ・イソツツジ被植地の蛹粉アルコールトラップ), H  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日直海博士によって本種と同定された。本種の和名は従来「キタヤマメダカハネカクシ」とされていたが, 柴田ほか(2013)によって上記に改称されている。
5. *Stenus mikado* HROMÁDKA ミカドクビブトメダカハネカクシ (分布: B型)  
 [追加記録] 1ex. (2015年\*), 26. VII. 2009, 糠平湖右岸5の沢北側(ヤナギ河畔林床の下草のスイーピング), H  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日直海博士によって本種と同定された。前報では上士幌町内からの本種の記録は亜寒帯・亜高山帯(三股14の沢)のもののみであったが, 上記の記録により本種が混交林帯にも生息することが確認された。本種の和名は従来「ミカドメダカハネカクシ」とされていたが, 柴田ほか(2013)によって上記に改称されている。
6. *Stenus bohemicus* (MACHULKA) ボヘミアカワベメダカハネカクシ (分布: C型)  
 [追加記録] 1ex. (2015年\*), 5. VII. 2011 糠平湖右岸平の沢流入点(沢岸の砂礫上), H; 2exs. (2014年\*), 28. VI. 2007, 東雲湖南岸810m(水際のスゲ等草本のスイーピング), H;  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日直海博士によって本種と同定された。本種には従来和名がなかったが, 柴田ほか(2013)によって上記の和名が付与されている。



7. *Stenus cicindeloides* (SCHALLER) アシマダラカワバメダカハネカクシ (分布:A型)  
 [追加記録] 2exs. (2014年※), 28. VI. 2008, 三股16の沢出合南約1km (国道脇の駐車場山側の湿地の草本のスイーピング), H; 2exs. (2014年※), 26. VII. 2009, 糠平湖右岸5の沢北側 (ヤナギ等自然林床の下草のスイーピング), H  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日直海博士によって本種と同定された. 本種の和名は従来「アシマダラメダカハネカクシ」とされていたが, 柴田ほか (2013) によって上記に改称されている.
8. *Stenus etsukoae* NAOMI キタハヤシメダカハネカクシ (分布:C型)  
 [追加記録] 1ex. (2014年※), 27. VII. 2009, 幌加音更川5の沢中股900-1047m (エゾマツ・ダケカンバ自然林内の沢の岸の落葉中), H  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日直海博士によって本種と同定された. 本種の和名は従来「ハハノメダカハネカクシ」とされていたが, 柴田ほか (2013) によって上記に改称されている.
9. *Philonthus wuesthoffi* BERNHAUER ニセヒゲナゴガシラハネカクシ (分布:A型)  
 [追加記録] 1ex. (2016年\*), 27. VI. 2008, 上勝北林道 (択伐後のエゾマツ・トドマツ林縁の下枝の叩き網), H, 伊藤建夫保管  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日伊藤氏によって本種と同定された. 本種の和名は従来「ヒメホソコガシラハネカクシ」とされていたが, 柴田ほか (2013) によって上記に改称されている. なお著者は前報で本種の学名を「*Philonthus wusthoffi*」と誤記したが, 正しい綴りは上記のとおりである.
10. *Rabigus inconstans* SHARP ホソチャバネコガシラハネカクシ (分布:B型)  
 [追加記録] 2exs. (2016年\*), 26. VII. 2009, 糠平湖右岸5の沢北側 (増水した汀線の草本のスイーピング), H, 伊藤建夫保管  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日伊藤氏によって本種と同定された. 本種の学名は各種の図鑑では「*Philonthus brunnicollis* (HOCHHUTH)」とされており, 著者らも前報でそれに従ったが, 柴田ほか (2013) によれば上記に変更されている. 前報では上士幌町内からの本種の記録は亜寒帯・亜高山帯 (三股, 幌加温泉) のもののみであったが, 上記の記録により本種が混交林帯にも生息することが確認された.
11. *Zeteotomus maximus* (BERNHAEUER) ズナガホソクビハネカクシ (分布:A型)  
 [追加記録] 1ex. (2016年\*), 27. VI. 2008, 置戸越林道上小屋山付近 (ヤナギ等溪畔林内の枯れ木の叩き網), H, 伊藤建夫保管  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日伊藤氏によって本種と同定された.

## [5] PSELAPHIDAE アリヅカムシ科

## b. 追加種

1. *Saulcyella schmidti* (MÄRKEL) コブヒゲアリヅカムシ (分布:B型)

[文献記録] 三股 (野村・丸山, 2011)

本種は欧州とロシア極東部から知られていた種で, 三股と石川県白峰村白山で採集された標本に基づき, 日本初記録種として報告された. 1属1種の特異なアリヅカムシで, 種のみならず上族 (Euplectitae) のレベルで日本初記録であるという. 三股産の標本は, 集落跡地の平坦な草地の道路際に孤立した針葉樹の根際に形成されたケズネアカヤマアリの, 高さ約50cmの塚の湿った部分から採集されたという.

## [6] LUCANIDAE クワガタムシ科

## c. 既記録種の追加記録等

1. *Lucanus maculifemoratus* MOTSCHULSKY ミヤマクワガタ (分布:A型)

[文献記録] 三股 (集落跡周辺) (上士幌町, 1996a)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した.

2. *Macrodercas rectus* (MOTSCHULSKY) コクワガタ (分布:A型)

[文献記録] 三股 (集落跡周辺) (上士幌町, 1996a)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した.

## [7] GEOTRUPIDAE センチコガネ科

## c. 既記録種の追加記録等

1. *Geotrupes laevistriatus* MOTSCHULSKY センチコガネ (分布:A型)

[文献記録] 糠平川 (高橋・春沢, 2014)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

## [8] SCARABAEIDAE コガネムシ科

## a. 誤同定の訂正

1. (誤) *Mimela costata* HOPE オオスジコガネ

(正) *Mimela testaceipes* MOTSCHULSKY スジコガネ (分布:A型)

[文献記録] セタ川右岸380m渡河点 (芳賀ほか, 2010)

## b. 追加種

1. *Psammoporus comis* (LEWIS) ナガニセマグソコガネ (分布: B型)

[文献記録] 糠平川600-800m (高橋・春沢, 2014)

上記の文献記録が発表されたことにより, 上士幌町のファウナに追加された。

2. *Mimela testaceipes* MOTSCHULSKY スジコガネ (分布: A型)

[追加記録] 1ex., 26. VII. 2009, セタ川右岸380m渡河点, H

前記「オオスジコガネ」の項に記載したとおり, 単純な見間違いであった。

## c. 既記録種の追加記録等

1. *Aphodius setchan* MASUMOTO キタミヤママグソコガネ (分布: C型)

[文献記録] 糠平川800m (高橋・春沢, 2014)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。日浦勇氏によって1967年6月19日に採集された標本に基づく記録で, 本種の採集記録としては最古のものと思われる。採集された標高も大雪山地での採集記録としては最も低い記録となると思われるが, 本種は摩周湖では標高約560mで採集されている(中谷ほか, 2010)。本種は, 表大雪の高山帯で採集された標本に基づいて記載されたことから高山性の種とわかれてきたが, 実際には針葉樹林帯か混交林帯まで生息していると考えられる。

2. *Aphodius sordidus* (FABRICIUS) ヨツボシマグソコガネ (分布: A型)

[文献記録] 上士幌町上士幌 (高橋・春沢, 2014)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

3. *Mimela holosericea* (FABRICIUS) キンスジコガネ (分布: A型)

[文献記録] 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (集落跡周辺) (上士幌町, 1996a)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。

## [9] SCIRTIDAE マルハナノミ科 (※を付した個体は吉富博之同定・保管)

本科の学名は各種の図鑑では「Helodidae」とされており前報でもそれに従ったが, 吉富(2002)により, 上記の学名が正しいことが注意喚起されている。

## b. 追加種

1. *Nyholmia patiens* (KLAUSNITZER) ニセアイヌチビマルハナノミ (分布: C型)

[追加記録] 3exs. (2015年※), 28. VI. 2008, 糠平湖右岸5の沢~平の沢 (混交自然林床の湿地の草本のスィーピング), H;

2exs. (2015年※), 25. VI. 2008, 東居辺 (小学校上流側居辺川河川敷) (砂礫地の草本のスィーピング), H

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日吉富博士によって本種と同定された。

2. *Herthania obscuratus* (KLAUSNITZER) スマチビマルハナノミ (分布: B型)

[追加記録] 1ex. (2015年※), 27. VI. 2008, 置戸越林道 (上勝北林道分岐~国道出合) (河畔林の下草のスィーピング), H;

2exs. (2015年※), 25. VI. 2008, 東居辺 (小学校上流側居辺川河川敷) (砂礫地の草本のスィーピング), H

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日吉富博士によって本種と同定された。

3. *Contacyphon kongsbergensis* (MÜNSTER) キタチャイロチビマルハナノミ (分布: C型)

[追加記録] 4exs. (2015年※), 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近 (混交自然林床の湿地の草本のスィーピング), H; 2exs.

(2015年※), 28. VI. 2008, 糠平湖右岸5の沢~平の沢 (混交自然林床の湿地の草本のスィーピング), H; 5exs. (2015年※), 東

雲湖南岸810m(水際のスゲ等草本のスィーピング), H

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日吉富博士によって本種と同定された。

4. *Contacyphon fuscomarginatus* (NAKANE) キイロチビマルハナノミ (分布: B型)

[追加記録] 1ex. (2015年※), 28. VI. 2008, 三股 (音更川本流林道出合南約1km) (駐車場山側の湿地の草本のスィーピング),

H; 12exs. (2015年※), 28. VI. 2008, 糠平湖右岸5の沢~平の沢 (混交自然林床の湿地の草本のスィーピング), H; 2exs. (2015

年※), 26. VII. 2009, 糠平湖右岸5の沢北側 (湖水際草本のスィーピング), H; 1ex. (2015年※), 10. VII. 2004, 糠平湖右岸

5の沢付近 (混交自然林床の湿地の草本のスィーピング), H; 11exs. (2015年※), 東雲湖南岸810m (水際のスゲ等草本のスィー

ピング), H

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日吉富博士によって本種と同定された。

5. *Contacyphon padi* (LINNAEUS) キタクロチビマルハナノミ (分布: C型)

[追加記録] 1ex. (2015年※), 28. VI. 2008, 三股 (音更川本流林道出合南約1km) (駐車場山側の湿地の草本のスィーピング),

H; 3exs. (2015年※), 28. VI. 2008, 糠平湖右岸5の沢~平の沢 (混交自然林床の湿地の草本のスィーピング), H; 2exs. (2015年

※), 東雲湖南岸810m (水際のスゲ等草本のスィーピング), H

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日吉富博士によって本種と同定された。

6. *Contacyphon variabilis* (THUNBERG) チビマルハナノミ (分布: C型)

[追加記録] 2exs. (2015年※), 28. VI. 2008, 三股 (音更川本流林道出合南約1km) (駐車場山側の湿地の草本のスイーピング), H; 1ex. (2015年※), 9. VII. 2005, 糠平湖右岸5の沢~平の沢 (混交自然林床の湿地の草本のスイーピング), H

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日吉富博士によって本種と同定された。以上の6種と次のアイヌチビマルハナノミは, いずれも過去には*Cyphon*属に含められていた (たとえばYoshitomi, 2005)。吉富(2015)によれば, その後*Cyphon*属が解体され複数の属に分割されたことにより, 各種の属名が上記のとおり変更されている。

## c. 既記録種の追加記録等

1. *Nyholmia ainu* (NAKANE) アイヌチビマルハナノミ (分布: C型)

[追加記録] 3exs. (2015年※), 27. VI. 2008, 置戸越林道上勝北林道分岐~国道出合 (河畔林の下草のスイーピング), H; 1ex. (2015年※), 28. VI. 2008, 三股 (音更川本流林道出合南約1km) (駐車場山側の湿地の草本のスイーピング), H; 1ex. (2015年※), 28. VI. 2008, 糠平湖右岸5の沢流入点 (ヤナギ河畔林の下草のスイーピング), H

本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。本種の学名は各種の図鑑では「*Cyphon ainu* NAKANE」とされており, 著者らも前報でそれに従ったが, 吉富(2015)によれば上記のとおり変更されている。

## [10] BUPRESTIDAE タマムシ科

## a. 誤同定の訂正

1. (誤) *Agrilus insuspectus* OBENBERGER ミドリツヤナガタマムシ

(正) *Agrilus ogatai* OHMOMO オガタナガタマムシ (分布: A型)

[館蔵標本] 糠平; 収蔵庫: 2exs., 17. VII. 1971, 山之内統 [3501, 3502]; 2exs., 9. VII. 1978, 山之内統 [3509, 3510]

(正) *Agrilus ribbei* KIESENWETTER ホソアシナガタマムシ (分布: A型)

[館蔵標本] 糠平; 収蔵庫: 1ex., 17. VII. 1971, 山之内統 [3500]; 3exs., 9. VII. 1978, 山之内統 [3507, 3508, 3511]

(正) *Agrilus adelphinus* KERREMANS ニセホソアシナガタマムシ (分布: A型)

[館蔵標本] 幌加 (収蔵庫: 1ex., 25. VI. 1971, 山之内統 [3503]), 糠平; 収蔵庫: 1♂ (交尾器露出), 17. VII. 1971, 山之内統 [3499]; 1ex., 9. VII. 1978, 山之内統 [3506]

ミドリツヤナガタマムシは, 国内では北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬に分布するとされているが, 北海道からの記録は近似種オガタナガタマムシの誤りである可能性がある (大桃・福富, 2013)。前報を読んだ宮田達美氏から, 前報に含まれる「ミドリツヤナガタマムシ」の記録もオガタナガタマムシの誤同定ではないかとの指摘をいただいたので, 乙幡康之・須田修両氏にお願いして標本を借用させていただき, 前報発表後に出版された図鑑 (大桃・福富, 2013) に基づいて再同定した結果, 前報の記録は誤同定であったことが判明した。

前報で「ミドリツヤナガタマムシ」として記録した標本には, 上記11個体の他に旧ひがし大雪博物館第二展示室の展示標本がある (糠平 (第二展示室: 5exs., 採集年月日不明, 山之内統 [742 (1) - (5)]。これらは移動が困難であるため, 標本を借用することができなかったが, 上記の再同定結果から推測すると, *A. ogatai*, *A. ribbei*, *A. adelphinus*の3種のいずれかである可能性が高いと思われる。

なおミドリツヤナガタマムシの学名は, 黒澤ほか編著 (1985) の図鑑では「*Agrilus insuspectus* OBENBERGER」とされているが, 大桃・福富 (2013) の図鑑では*Agrilus sibiricus fukushimensis* JENDEKに改められている。

## b. 追加種

1. *Agrilus ogatai* OHMOMO オガタナガタマムシ (分布: A型)

[館蔵標本] 前記「ミドリツヤナガタマムシ」の項に記載したとおり。

前報で「ミドリツヤナガタマムシ」として記録した標本の一部を本種と再同定した。これらの個体の体色はいずれも銅緑色 (No. 3510はかすかに赤みを帯びる) で, 本属の種としては特別に光沢が強しくはなく, 大桃・福富 (2013) の図鑑で*A. ogatai*の色彩とされている「青みを帯びた金属光沢の強い緑色」とは一致しない。しかし本属の種の体色は一般に個体差・地域差が大きいこと, 前胸内側隆線と前胸腹板突起の形状から, *A. ogatai*と同定することが妥当であると判断した。保田 (2014) 等の文献を見る限りでは, 上士幌町を含む大雪山地からの本種の記録はない。

2. *Agrilus adelphinus* KERREMANS ニセホソアシナガタマムシ (分布: A型)

[館蔵標本] 前記「ミドリツヤナガタマムシ」の項に記載したとおり。

前報で「ミドリツヤナガタマムシ」として記録した標本の一部を本種と再同定した。保田 (2014) 等の文献を見る限りでは, 上士幌町からの本種の記録はない。

なお前報で「ミドリツヤナガタマムシ」として記録した標本の一部であるホソアシナガタマムシは, 前報で既に上士幌町内 (三股) から記録されている。著者らは前報で, 黒澤ほか編著 (1985) の図鑑に基づき本種に対して「*Agrilus tibialis* LEWIS」の学名を使用した。大桃・福富 (2013) の図鑑では*A. ribbei*に改められている。

## c. 既記録種の追加記録等

1. *Anthaxia reticulata aino* Y. KUROSAWA クロヒメヒラタタマムシ (分布: B型)

[文献記録] 十勝三又 (sic. =三股) (大桃・福富, 2013)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

2. *Chrysobothris chryso stigma yezostigma* Y. KUROSAWA カクムネムツボシタマムシ (分布: C型)

【文献記録】十勝三又 (sic. =三股) (大桃・福富, 2013)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

3. *Agrilus hokkaidoensis* TÔYAMA エゾナガタマムシ (分布: C型)

【文献記録】幌加 (大桃・福富, 2013)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。本種は完模式標本の1♂以外に採集されたことがなく, 既存の文献記録は全て同標本に基づく。本種が原色写真で図示されるのは大桃・福富(2013)の図鑑が初めてと思われる。

## [11] THROSCIDAE ヒゲブトコメツキ科

## b. 追加種

1. *Aulonothroscus laticollis* (RYBINSKI) カギツメヒゲブトコメツキ (分布: B型)

【文献記録】三股 (平野, 2013; 野村・平野, 2014)

【追加記録】1♂, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は欧州 (ポーランド, ベラルーシ, クロアチア, フィンランド, ノルウェー, フランス) とロシア (北欧部, 中欧部, 極東部) から知られていた種で, ♂の中脚附節が複雑なかぎ爪のような特異な形状を示すことで特徴づけられる。平野幸彦氏によって三股, 上川町浮島湿原, 北見市富里湖森林公園で採集された標本に基づき, 日本初記録種として報告された。著者はこの報告に基づき, 自分の糠平湖での採集品から1♂を見出した (採集時の記憶はなく, 叩き網で得られたものと思われる)。著者はまた, 前報で「*Aulonothroscus* sp. ナガヒゲブトコメツキの近似種」として記録した個体 ([館蔵標本] 糠平 (収蔵庫: 1ex., 16. IX. 1977, 山之内統 [23606])) が本種ではないかと考え, 標本を借用させていただき再同定を試みた。その結果, 標本の外形は野村・平野(2014)が図示した個体によく似ており同種である可能性があると思われるものの, 中脚附節の形状は単純で♀個体であると推測され, 種の決定には至らなかった。

## [12] ELATERIDAE コメツキムシ科 (※を付した個体は尾崎俊寛同定)

## b. 追加種

1. *Ampedus pomorum shinoharai* KISHII シノハラアカコメツキ (分布: C型)

【文献記録】糠平温泉 (Kishii, 1977; Kishii, 1987)

本種は前報に収録できなかった種で, 上記の文献記録を新たに見出した。

2. *Ampedus optabilis kusuii* OHIRA エゾオオアカコメツキ (分布: A型)

【文献記録】糠平川 (水野・岸井, 2014)

前報発表後に上記の文献記録が追加された。

3. *Menoko pallidula yasudai* (OHIRA) サロベツツヤミズギワコメツキ (分布: C型)

【文献記録】上士幌東13線北端芽登川右岸 (水野・岸井・有本, 2015)

上記の文献記録が発表されたことにより, 上士幌町のファウナに追加された。上記の記録は著者が2009年7月25日に採集した標本に基づく。

## c. 既記録種の追加記録等

1. *Dicanthous undosus* (LEWIS) ダンダラコメツキ (分布: B型)

【文献記録】三股14の沢林道終点 (水野・岸井・有本, 2015), 幌加温泉 (水野・岸井, 2014)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

2. *Yukara inornata* (LEWIS) キバネツヤハダコメツキ (分布: C型)

【文献記録】黒石平 (水野・岸井・有本, 2015)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。本種の学名は各種の図鑑では「*Athous inornatus* (LEWIS)」とされており, 著者らも前報でそれに従ったが, 水野・岸井・有本(2015)では上記のとおり変更されている。

3. *Hemicrepidius subcyaneus* (MOTSCHULSKY) ルリツヤハダコメツキ (分布: A型)

【文献記録】幌加温泉 (水野・岸井, 2014)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

4. *Acteniceromorphus selectus* (CANDÈZE) エゾヒラタコメツキ (分布: C型)

【文献記録】幌加温泉 (水野・岸井, 2014), 糠平川 (水野・岸井, 2014)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

5. *Selatosomus puncticollis* (MOTSCHULSKY) コガネコメツキ (分布: B型)

【文献記録】幌加温泉 (水野・岸井, 2014)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

6. *Pseudanostirus dilatatus* (MIWA) オオクロヒラタコメツキ (分布：B型)  
 [追加記録] 1ex. (2015年※), 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H, 尾崎俊寛保管  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する(採集時の記憶はなく, 叩き網で得られたものと思われる)。前報では上士幌町内からの本種の記録は亜寒帯・亜高山帯(西クマネシリ岳, 三股)のもののみであったが, 上記の記録により本種が混交林帯にも生息することが確認された。尾崎博士によれば, 本種は北海道と本州に分布する希少種である。著者らは前報で本種を「*Calambus dilatatus* (MIWA)」として記録したが, 尾崎博士によれば本種の学名は上記に変更されている。
7. *Anostirus daimio* (LEWIS) ダイミョウ (ダイミョウヒラタ) コメツキ (分布：A型)  
 [文献記録] 糠平川 (水野・岸井, 2014)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
8. *Corymbitodes gratus* (LEWIS) ドウガネヒラタコメツキ (分布：A型)  
 [文献記録] 糠平 (水野・岸井, 2014)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
9. *Ampedus azurescens azurescens* (CANDÈZE) アオムネアカコメツキ (分布：B型)  
 (= *Ampedus scutellaris pirika* KISHII アオムネオオアカ (キタセダカアカ) コメツキ)  
 [文献記録] 三股16の沢 (水野・岸井, 2014)  
 前報発表後に上記の文献記録が追加された。上記の記録は著者が1990年8月3日に採集した標本に基づく。著者らは前報で本種を「*Ampedus scutellaris pirika* KISHII」として記録したが, 水野弘造氏によればこの学名は現在では使用できなくなっている。すなわち, *Ampedus scutellaris*が*A. azurescens*の亜種に格下げされ, *A. scutellaris*の亜種だった*A. s. pirika*は同物異名となって抹消され, *A. azurescens azurescens*に吸収された。
10. *Ampedus sapporensis* W. SUZUKI マルムネアカコメツキ (分布：C型)  
 [文献記録] 三股16の沢 (水野・岸井, 2014)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された, 上記の記録は著者が1990年8月3日に採集した標本に基づく。
11. *Ampedus takeuchii* KISHII ウススジアカ (ウススジキバネ) コメツキ (分布：C型)  
 [文献記録] 三股 (水野・岸井, 2014)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
12. *Silesis musculus* CANDÈZE クチプトコメツキ (分布：A型)  
 [文献記録] 幌加温泉 (水野・岸井, 2014)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
13. *Ectinus sericeus sericeus* (CANDÈZE) カバイロコメツキ (分布：A型)  
 [追加記録] 2exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。
14. *Ectinus persimilis* (LEWIS) オオカバイロコメツキ (分布：B型)  
 [文献記録] 三股 (水野・岸井・有本, 2015)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
15. *Dalopius ainu* KISHII エゾナカグロヒメコメツキ (分布：C型)  
 [追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。
16. *Melanotus matsumurai* SCHENKLING ハネナガクシコメツキ (分布：A型)  
 [文献記録] 幌加 (水野・岸井, 2014)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
17. *Menoko difficilis* (LEWIS) ウスチャミズギワコメツキ (分布：C型)  
 [文献記録] 幌加 (水野・岸井, 2014), 糠平湖右岸平の沢 (水野・岸井・有本, 2015), 糠平 (水野・岸井, 2014), 上士幌東13線北端芽登川右岸 (水野・岸井・有本, 2015)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。水野・岸井・有本 (2015) の記録は著者が採集した標本に基づく。
18. *Menoko pirika* (KISHII) ピリカツヤミズギワコメツキ (分布：C型)  
 [文献記録] 糠平600m (水野・岸井, 2014)

本種は前報で記録された種であるが、上記の文献記録が追加された。

19. *Negastrius aino* KISHII エゾチビミズギワコメツキ (分布: C型)

[文献記録] 糠平600m (水野・岸井, 2014)

本種は前報で記録された種であるが、上記の文献記録が追加された。著者らは前報で本種を「*Yezostrius aino* (KISHII)」として記録したが、*Yezostrius*属は大平(1988)によって*Negastrius*属の同物異名とされている。

20. *Paracardiophorus pullatus yasudai* ÔHIRA コハナコメツキ (エゾコハナコメツキ) (分布: A型)

[文献記録] 三股 (佐々木, 1983)

上記の記録は「*Paracardiophorus pullatus* (CANDÈZE)」の学名で発表されているが、本種の北海道産の個体群はÔhira (1986)によって*Paracardiophorus subaeneus yasudai* ÔHIRA エゾコハナコメツキとして記載され、その後Ôhira (1997)によって学名が上記に変更されている。

[13] LYCIDAE ペニボタル科

c. 既記録種の追加記録等

1. *Platycis nasutus* (KIESENWETTER) テングペニボタル (分布: A型)

[追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが、上記の記録を追加する。

2. *Xylobanus japonicus* (BOURGOIS) ヤマトアミメボタル (分布: B型)

[追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが、上記の記録を追加する。

[14] CANTHARIDAE ジョウカイボン科

c. 既記録種の追加記録等

1. *Podabrus longissimus* PIC キベリクビボソジョウカイ (分布: B型)

[追加記録] 1♀, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが、上記の記録を追加する。

2. *Asiopodabrus ainu* (NAKANE et MAKINO) アイヌクビボソジョウカイ (分布: C型)

[追加記録] 3♀, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが、上記の記録を追加する。

[15] NITIDURIDAE ケシキスイ科

c. 既記録種の追加記録等

1. *Meligethes denticulatus* HEER キムネチビケシキスイ (分布: A型)

[追加記録] 2exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが、上記の記録を追加する。

[16] CORYLOPHIDAE ミジンムシ科 (※を付した個体は古川恒太同定)

a. 誤同定の訂正

1. (誤) *Corylophus japonicus* MATTHEWES ダエンミジンムシ

(正) *Orthoperus sibiricus* BOWESTEAD (和名なし) (分布: C型)

[文献記録] 東居辺 (サンケオルベツ川出会上流約0.5km (芳賀ほか, 2010))

b. 追加種

1. *Orthoperus sibiricus* BOWESTEAD (和名なし) (分布: C型)

[追加記録] 前記「ダエンミジンムシ」の項に記載したとおり (採集した個体のうち30exs. は2012年※)。

[文献記録] 東居辺 (サンケオルベツ川出会上流約0.5km) (Furukawa, 2012)

本種はロシア極東部から知られていた種で、Furukawa (2012) によって日本初記録種として報告された。著者らが前報で「ダエンミジンムシ」として記録した標本の一部が古川恒太博士によって本種と同定され、上記論文で検視標本に含まれている。本種は国内では現時点で北海道特産種であるが、検視標本の産地は函館山から雌阿寒岳までの広い範囲に及んでおり、全道的に分布するようである。

2. *Corylophus japonicus* MATTHEWES ダエンミジンムシ (分布: B型)

[追加記録] 1ex. (2014年※), 29. VI. 2008, 上土幌56号地先音更川左岸340m (ミズナラ等の古い二次林内の枯木の叩き網), H, 古川恒太保管

上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので、後日古川博士によって本種と同定された (著者らが本種として記録した個体は誤同定であったが、結果として本種は上土幌町のファウナに留まることとなった)。古川博士によれば、本種の学名は将来の研究によって変更される可能性があるが、現時点では上記のものが使用される。

## c. 既記録種の追加記録等

1. *Corylophus japonicus* MATTHEWES ベニモンツヤミジンムシ (分布:A型)

[追加記録] 1ex. (2014年※), 9. VII. 2005, 糠平湖右岸5の沢流入点(ヤナギ疎林内の下草のスイーピング), H, 古川恒太保管  
上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日古川博士によって本種と同定された. この個体は上翅の赤紋がほとんど見えず, 一見オオミジンムシ *Alloparomalus yuasai* (NAKANE) のように見える. 前報では上土幌町内からのベニモンツヤミジンムシの記録は広葉樹林帯(上土幌本町)のもののみであったが, 上記の記録により本種が混交林帯にも生息することが確認された.

## [17] COCCINELLIDAE テントウムシ科

## c. 既記録種の追加記録等

1. *Pseudoscymnus hareja* (WEISE) ハレヤヒメテントウ (分布:A型)

[文献記録] 糠平600m (高橋, 2015)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された. 高橋は本種の学名を「*Sasajiscymnus hareja*」としているが, その変更の根拠となる文献がわからなかったため, 本報告では従来の学名を踏襲する.

2. *Scymnus japonicus* WEISE クロヒメテントウ (分布:A型)

[文献記録] 幌加600m (高橋, 2015)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された. 前報では上土幌町内からの本種の記録は広葉樹林帯(上土幌本町)のもののみであったが, 上記の記録により本種が針葉樹林帯にも生息することが確認された.

3. *Scymnus posticalis* SICARD コクロヒメテントウ (分布:A型)

[文献記録] 三股(松本ほか, 2012)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された. 前報では上土幌町内からの本種の記録は広葉樹林帯(上土幌本町・東居辺)と混交林帯(糠平)のもののみであったが, 上記の記録により本種が針葉樹林帯にも生息することが確認された.

4. *Adalia conglomerata* (LINNAEUS) ルイステントウ (分布:A型)

[文献記録] 三股(松本ほか, 2012)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された. 前報では上土幌町内からの本種の記録は広葉樹林帯(上土幌本町)と混交林帯(糠平)のもののみであったが, 上記の記録により本種が針葉樹林帯にも生息することが確認された.

5. *Coccinula crotchii* (LEWIS) マクガタテントウ (分布:B型)

[文献記録] 三股(松本ほか, 2012)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

6. *Coccinella ainu* LEWIS アイヌ(ジュウイチホシ)テントウ (分布:B型)

[文献記録] 三股(松本ほか, 2012)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された. 前報では上土幌町内からの本種の記録は広葉樹林帯(上土幌本町等)と混交林帯(糠平)のもののみであったが, 上記の記録により本種が針葉樹林帯にも生息することが確認された.

7. *Propylea quatuordecimpunctata* (LINNAEUS) コカメノコテントウ (分布:B型)

[文献記録] 三股置戸越林道(松本ほか, 2012)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

8. *Calvia decemguttata* (LINNAEUS) シロトホシテントウ (分布:A型)

[文献記録] 三股(松本ほか, 2012), 糠平(松本ほか, 2012)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

9. *Calvia quatuordecimguttata* (LINNAEUS) シロジュウシホシテントウ (分布:A型)

[文献記録] 三股(松本ほか, 2012), ウペペサンケ山糠平側(高橋, 2015)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

10. *Sospita gebleri* (CROTCH) カサイテントウ (分布:C型)

[文献記録] 然別湖(高橋, 2015)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された. 高橋は本種の学名を「*Myzia gebleri*」としているが, その変更の根拠となる文献がわからなかったため, 本報告では従来の学名を踏襲する.

11. *Anatis halonis* LEWIS ウンモンテントウ (分布:A型)

[文献記録] 三股(松本ほか, 2012)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

12. *Harmonia axyridis* (PALLAS) ナミテントウ (テントウムシ) (分布: A型)  
 [文献記録] 三股 (松本ほか, 2012), 糠平温泉 (松本ほか, 2012), 糠平 (高橋, 2015)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
13. *Vibidia duodecimguttata* (PODA) シロホシテントウ (分布: A型)  
 [文献記録] 三股 (松本ほか, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
14. *Epilachna vigintioctomaculata* MOTSCHULSKY オオニジュウヤホシテントウ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平温泉 (松本ほか, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

[18] MELANDRYIDAE ナガクチキムシ科

- c. 既記録種の追加記録等
1. *Synstrophus macrophthalmus* (REITTER) カツオガタナガクチキ (分布: A型)  
 [文献記録] 上土幌 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
2. *Orchesia elegantula* LEWIS アヤモンニセハナノミ (分布: A型)  
 [文献記録] 三股 (水野, 2011), 幌加 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
3. *Abdera scriptipennis* LEWIS カギモンケンシナガクチキ (分布: B型)  
 [文献記録] 三股 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
4. *Xylita livida* (SAHLBERG) ツツホソナガクチキ (分布: B型)  
 [文献記録] 三股 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
5. *Dircaea dentatamaculata* LEWIS ハガタホソナガクチキ (分布: A型)  
 [文献記録] 幌加 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
6. *Phloeotrya bellicosa* LEWIS オオクロホソナガクチキ (分布: A型)  
 [文献記録] 幌加 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
7. *Paramikadonius crepusculus* (LEWIS) コメツキガタナガクチキ (分布: A型)  
 [文献記録] 幌加 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
8. *Serropalpus nipponicus* LEWIS キイロホソナガクチキ (分布: A型)  
 [文献記録] 幌加 (水野, 2011), 然別 (町名記載なし) (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
9. *Serropalpus filiformis* MARSEUL ヒメホソナガクチキ (分布: B型)  
 [文献記録] 三股 (水野, 2011), 幌加 (水野, 2011)  
 [追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録が追加された。
10. *Euryzilora lividipennis* LEWIS ムナクボナガクチキ (分布: B型)  
 [文献記録] 幌加 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
12. *Phryganophilus pseudoauritus* NIKITSKY タカネクロナガクチキ (分布: C型)  
 [文献記録] 上土幌本町 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。



13. *Melandrya gloriosa* LEWIS アオバナガクチキ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平 (水野, 2011)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

14. *Prothalpia rausuana* (NAKANE) ラウスナガクチキ (分布:B型)  
 [文献記録] 三股 (水野, 2011)  
 [追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録が追加された。

[19] MORDELLIDAE ハナノミ科 (※を付した個体は鶴智之同定・保管)

b. 追加種

1. *Mordellistena comes* MARSEUL クロヒメハナノミ (分布:A型)  
 [追加記録] 1ex. (2014年※), 29. VII. 2009, 萩ヶ岡橋直上流音更川左岸320m (ヤナギ等二次林床のセリ科花上), H; 1ex. (2014年※), 25. VII. 2009, 上士幌東13線北端 (芽登川右岸台地上, 牧草地縁のシモツケ花上), H; 1ex. (2014年※), 25. VI. 2008, 東居辺 (サンケオルベツ川出合付近, 居辺川河川敷の砂礫地のヨモギ等のスイーピング), H  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日鶴博士によって本種と同定された。
2. *Mordellistena (Pseudomordellina) fujiyamai* NOMURA フジヤマクロヒメハナノミ (分布:B型)  
 [追加記録] 2exs. (2014年※), 25. VII. 2009, 上士幌東14線地先芽登川右岸 (放棄された牧草地の草本のスイーピング), H  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日鶴博士によって本種と同定された。本種を含む *Pseudomordellina* 亜属の種は幼虫が草本食で, ヨモギなどのキク科やセリ科の植物の茎を食べ, 成虫も幼虫の食草周辺をスイーピングすることで採集される。本種は従来本州, 九州, 船倉島, 八丈島, 対馬, 下甕島, 屋久島から知られていた種で, 今回の記録が北海道初記録に当たるといふ。
3. *Mordellistena (Pseudomordellina) brevilineata* NOMURA カタスジクロヒメハナノミ (分布:B型)  
 [追加記録] 1ex. (2014年※), 29. VI. 2008, 上士幌町56号線地先 音更川左岸340m (ミズナラ等二次林内の採草地のスイーピング), H; 4exs. (2014年※), 25. VII. 2009, 上士幌東13線北端 (芽登川右岸台地上, 牧草地縁のシモツケ花上), H; 10exs. (2014年※), 25. VII. 2009, 上士幌東14線地先芽登川右岸 (放棄された牧草地の草本のスイーピング), H; 5exs. (2014年※), 25. VI. 2008, 東居辺 (サンケオルベツ川出合付近, 居辺川河川敷の砂礫地のヨモギ等のスイーピング), H  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日鶴博士によって本種と同定された。
4. *Mordellina (Pseudomordellistena) koikei* (TOKEJI) コイケヒメハナノミ (分布:A型)  
 [追加記録] 2exs. (2014年※), 29. VII. 2009, 萩ヶ岡橋直上流音更川左岸320m (ヤナギ等二次林床のセリ科花上), H;  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日鶴博士によって本種と同定された。本種は従来本州, 四国, 九州, 対馬, 屋久島から知られていたが記録が少ない種で, 今回の記録が北海道初記録に当たるといふ。
5. *Mordellina (Pseudomordellistena) palliata* NOMURA ウスイロヒメハナノミ (分布:B型)  
 [追加記録] 2exs. (2014年※), 29. VII. 2009, 萩ヶ岡橋直上流音更川左岸320m (ヤナギ等二次林床のセリ科花上), H;  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日鶴博士によって本種と同定された。本種を含む *Pseudomordellistena* 亜属の種は強い訪花習性を持つ。本種は従来本州と対馬から知られていたが記録が少ない種で, 今回の記録が北海道初記録に当たるといふ。
6. *Tolidopalpus galloisi* (KÔNO) ガロアヒメハナノミ (分布:A型)  
 [文献記録] 上士幌本町 (芳賀, 1993. 「*Mordellaria* sp.」として)  
 [追加記録] 1♀ (2014年※), 24-30. VII. 1989, 上士幌本町 (針葉樹材切口の樹脂に付着), H  
 本種は芳賀 (1993) において「*Mordellaria* sp.」として記録された種で, 種までの同定ができなかったため前報には収録しなかった。後日鶴博士によって本種と同定された。

7. *Tolidopalpus japonica* (TOKEJI) ナガトゲヒメハナノミ (分布:A型)

- [追加記録] 3exs. (2014年※), 29. VII. 2009, 萩ヶ岡橋直上流音更川左岸320m (ヤナギ等二次林床のセリ科花上), H  
 上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日鶴博士によって本種と同定された。

c. 既記録種の追加記録等

1. *Mordellaria zenchii* TOKEJI ゼンチハナノミ (分布:B型)  
 [追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。前報では上士幌町内からの本種の記録は針葉樹林帯 (三股16の沢) のもののみであったが, 上記の記録により本種が混交林帯にも生息することが確認された。
2. *Mordella brachyura brachyura* MULSANT クロハナノミ (分布:B型)  
 [追加記録] 2exs. (2014年※), 29. VII. 2009, 萩ヶ岡橋直上流音更川左岸320m (ヤナギ等二次林床のセリ科花上), H; 1ex.

(2014年※), 25. VII. 2009, 上士幌東13線北端(芽登川右岸台地上, 牧草地縁のシモツケ花上), H  
上記の個体は前報の準備段階で同定できず目録に収録できなかったもので, 後日鶴博士によって本種と同定された.

[20] SYNCHROIDAE ヒラタナガクチキムシ科

c. 既記録種の追加記録等

1. *Synchroa melanotoides* LEWIS ヒメコメツキガタナガクチキ (分布:A型)

[文献記録] 糠平(水野, 2011)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

[21] CEPHALOIDAE クビナガムシ科

c. 既記録種の追加記録等

1. *Scotodes niponicus* LEWIS クビカクシナガクチキ (分布:B型)

[文献記録] 上士幌本町(水野, 2011)

[追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録が新たに追加された.

[22] OEDEMERIDAE カミキリモドキ科

c. 既記録種の追加記録等

1. *Opsimea nigripennis* (MATSUMURA) クロカミキリモドキ (分布:A型)

[追加記録] 1♂1♀, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する.

2. *Indasclera carinicollis* (LEWIS) メスグロカミキリモドキ (分布:B型)

[文献記録] 糠平(Mizota, 1999)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した. 前報の記録は黒澤ほか編著(1985)の図鑑に従って「*Asclera carinicollis* (LEWIS)」の学名で発表されているが, Mizota(1999)によれば本種の学名は上記に変更されている.

[23] SCRAPTIIDAE ハナノミダマシ科

c. 既記録種の追加記録等

1. *Anaspis frontalis* (LINNAEUS) オオクロフナガタハナノミ (分布:B型)

[追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する.

2. *Anaspis marseuli* CSIKI クロフナガタハナノミ (分布:A型)

[追加記録] 1ex., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する.

[24] TENEBRIONIDAE ゴミムシダマシ科

b. 追加種

1. *Gonocephalum terminale* REICHARDT ヒメカクスナゴミムシダマシ (分布:A型)

[文献記録] 糠平(高橋, 2011)

上記の文献記録が発表されたことにより, 上士幌町のファウナに追加された.

2. *Boletoxenus incurvatus* (LEWIS) ニセコブスジツノゴミムシダマシ (分布:A型)

[文献記録] 糠平川600-800m(高橋, 2011)

上記の文献記録が発表されたことにより, 上士幌町のファウナに追加された.

c. 既記録種の追加記録等

1. *Gonocephalum recticolle* MOTSCHULSKY カクスナゴミムシダマシ (分布:A型)

[文献記録] 糠平(高橋, 2011)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

2. *Platydemus nigroaeneum* MOTSCHULSKY クロツヤキノコゴミムシダマシ (分布:A型)

[文献記録] 糠平川600-800m(高橋, 2011)

[追加記録] 2exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H

本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録が追加された.

3. *Stenophanes strigipennis* (MARSEUL) セスジホソクビキマワリ (分布:C型)

[文献記録] 三股(高橋, 2011)

本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された. 前報では上士幌町内からの本種の記録は広葉樹林帯(黒

石平) と混交林帯 (糠平) のもののみであったが, 上記の記録により本種が針葉樹林帯にも生息することが確認された。

## [25] CERAMBYCIDAE カミキリムシ科

### c. 既記録種の追加記録等

#### 1. *Megasemum quadricostulatum* KRAATZ オオクロカミキリ (分布: A型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (中山, 2011a), 糠平 (中山, 2011a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。中山 (2011a, 2011b, 2012, 2014) の報告は, 著名なカミキリムシ研究者であった故小島圭三博士が所蔵していたカミキリムシ標本のデータを公表したもので, 上士幌町産に限らず大部分のデータが, その個体が採集された植物の種名を含んでおり, 貴重な記録である。

#### 2. *Asemum amurense* KRAATZ マルクビヒラタカミキリ (分布: B型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。

#### 3. *Asemum punctulatum* BLESSIG ヒメマルクビヒラタカミキリ (分布: B型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。

#### 4. *Tetropium castaneum* LINNAEUS トドマツカミキリ (分布: B型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (中山, 2011a)  
[追加記録] 1♀, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近 (アカエゾマツ立枯れ木), H  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録が新たに追加された。

#### 5. *Arhopalus rusticus* LINNAEUS ムネツヤサビカミキリ (分布: C型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 糠平 (中山, 2011a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

#### 6. *Rhagium japonicum* BATES ハイイロハナカミキリ (分布: B型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (中山, 2011a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

#### 7. *Rhagium heyrovskyi* PODANÝ エゾハイイロハナカミキリ (分布: B型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。

#### 8. *Pachyta lamed* (LINNAEUS) カタキカタビロハナカミキリ (分布: C型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。上記文献では本種を「注目種」としている (上士幌町, 1996b)。

#### 9. *Sachalinobia koltzei* (HEYDEN) アラメハナカミキリ (分布: B型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。上記文献では本種を「貴重種」としている (上士幌町, 1996b)。

#### 10. *Brachyta danilevskyi* TSHERNYSHEV et DUBATOLOV トホシハナカミキリ (分布: B型)

[文献記録] ニペソツ山 (芳賀ほか, 2010)  
著者らは上記の記録を「*Brachyta punctata* (FALDERMANN)」の学名で発表したが, その後の研究 (大林・新里共編, 2007) により本種の学名は上記に変更された。大林・新里は, *B. punctata*は中央アジアに分布し, *B. danilevskyi*とは♂交尾器の形態が異なり, 上翅がより短く触角が細いと述べている。

#### 11. *Gaurotes doris* BATES カラカネハナカミキリ (分布: A型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 糠平 (中山, 2011a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

#### 12. *Acmaeops septentrionis* (C. G. THOMSON) キタクニハナカミキリ (分布: C型)

[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。上記文献では本種を「注目種」としている (上士幌町, 1996b)。

13. *Pidonia kurosawai* OHBAYASHI et HAYASHI キタセスジヒメハナカミキリ (分布: B型)  
 [文献記録] 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した. 本種の学名は各種の図鑑では「*Pidonia amentata kurosawai* OHBAYASHI et HAYASHI」とされており, 著者らも前報でそれに従ったが, その投稿直前に発表された研究 (Kuboki, 2009) により本種の学名は上記に変更された.
14. *Anoploderomorpha cyanea* (GEBLER) ルリハナカミキリ (分布: B型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した.
15. *Anastrangalia scotodes* (BATES) ツヤケシハナカミキリ (分布: A型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (中山, 2011a), 糠平 (中山, 2011a)  
 [追加記録] 1♂, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録が新たに追加された.
16. *Anastrangalia sequensi* (REITTER) ヨコグロハナカミキリ (分布: C型)  
 [文献記録] 糠平 (Ehara, 1954)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した.
17. *Corymbia succedanea* (BATES) アカハナカミキリ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平 (中山, 2011a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
18. *Corymbia variicornis* (DALMAN) ブチヒゲハナカミキリ (分布: B型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (中山, 2011a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
19. *Judolia cometes* (BATES) マルガタハナカミキリ (分布: A型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (中山, 2011a), 糠平 (中山, 2011a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
20. *Oedecnema dubia* (FABRICIUS) モモブトハナカミキリ (分布: B型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 糠平 (Ehara, 1954)  
 [追加記録] 1♂, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録が追加された.
21. *Leptura mimica* BATES ヤツボシハナカミキリ (分布: A型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 糠平 (Ehara, 1954)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した.
22. *Leptura aethiops* PODA クロハナカミキリ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平 (中山, 2011a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
23. *Leptura latipennis* (MATSUSHITA) ハネビロハナカミキリ (分布: A型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (中山, 2011a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
24. *Leptura duodecimguttata* FABRICIUS キモンハナカミキリ (分布: B型)  
 [追加記録] 1♀, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する.
25. *Leptura quadrifasciata* LINNAEUS カラフトヨツスジハナカミキリ (分布: C型)  
 [文献記録] 三股 (集落跡周辺) (上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した. 上記文献では本種を「貴重種」としている (上士幌町, 1996b).
26. *Leptura ochraceofasciata* MOTSCHULSKY ヨツスジハナカミキリ (分布: A型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 糠平 (Ehara, 1954)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した. なお著者は前報で本種の学名を「*Leptura ochraceofasciata*」

と誤記したが、正しい綴りは上記のとおりである。

27. *Macroleptura thoracica* CREUTZER クロオオハナ (セアカハナ) カミキリ (分布: B型)  
[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 糠平 (中山, 2011a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
28. *Macroleptura regalis* BATES オオヨツスジハナカミキリ (分布: A型)  
[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 糠平 (Ehara, 1954; 中山, 2011a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
29. *Nakanea vicaria* (BATES) フタスジハナカミキリ (分布: A型)  
[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
30. *Strangalia takeuchii* MATSUSHITA et TAMANUKI タケウチホソハナカミキリ (分布: A型)  
[文献記録] 糠平 (中山, 2011a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
31. *Nechydalis pennata* LEWIS ホソコバネカミキリ (分布: C型)  
[文献記録] 三股五の沢林道 (河合, 2015)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。2011年と2012年の夏季に1本のドロノキ衰弱木から計1♂3♀が採集され, ♀は産卵らしい行動をとっていたという。
32. *Molorchus minor fuscus* HAYASHI シラホシヒゲナガコバネカミキリ (分布: B型)  
[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
33. *Chloridolum viride* (THOMSON) ミドリカミキリ (分布: A型)  
[文献記録] 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (中山, 2011b)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
34. *Palaecallidium chlorizans* (SOLSKY) アオヒメスギカミキリ (分布: C型)  
[文献記録] 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。上記文献では本種を「注目種」としている (上士幌町, 1996b)。
35. *Callidium violaceum* (LINNAEUS) ルリヒラタカミキリ (分布: C型)  
[文献記録] 三股14の沢 (上士幌町, 1996a), 三股 (中山, 2011b)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
36. *Callidium aeneum* (DEGEER) ミドリヒラタカミキリ (分布: C型)  
[文献記録] 三股14の沢 (食害木 (トドマツ)) (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。上記文献では本種を「注目種」としている (上士幌町, 1996b)。
37. *Xylotrechus clarinus* BATES ツマキトラカミキリ (分布: B型)  
[文献記録] 三股 (中山, 2011b), 糠平 (中山, 2011b)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
38. *Xylotrechus cuneipennis* (KRAATZ) ウスイロトラカミキリ (分布: A型)  
[文献記録] 糠平 (Ehara, 1954; 中山, 2011b)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
39. *Xylotrechus villioni* (VILLARD) オオトラカミキリ (分布: A型)  
[文献記録] 三股14の沢 (食痕) (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
40. *Cyrtoclytus caproides* (BATES) キスジトラカミキリ (分布: A型)  
[文献記録] 糠平 (中山, 2011b)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

41. *Mesosa myops japonica* BATES ゴマフカミキリ (分布:A型)  
 [文献記録] 三股(中山, 2012), 糠平(中山, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
42. *Agapanthia daurica* GANGLBAUER ケマダラカミキリ (分布:B型)  
 [文献記録] 糠平(中山, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
43. *Plectrura metallica metallica* BATES アカガネカミキリ (分布:B型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢(上士幌町, 1996a), 三股14の沢(上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
44. *Monochamus rosenmuelleri* (CEDERHJELM) シラフヨツボシヒゲナガカミキリ (分布:C型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢(上士幌町, 1996a), 三股14の沢(上士幌町, 1996a), 三股(中山, 2012), 糠平(中山, 2012)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
45. *Monochamus sutor* (LINNAEUS) ヒメシラフヒゲナガカミキリ (分布:C型)  
 [文献記録] 三股シンノスケ3の沢(上士幌町, 1996a), 三股14の沢(上士幌町, 1996a), 三股(中山, 2012), 糠平(中山, 2012), 音更川(Toki & Kubota, 2010)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
46. *Acanthocinus orientalis* OHBAYASHI ヒゲナガモモブトカミキリ (分布:A型)  
 [文献記録] 三股(中山, 2014, 「*Acanthocinus griseus* (FABRICIUS)」として)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
47. *Saperda alberti* PLAVILSTSHIKOV トホシカミキリ (分布:B型)  
 [文献記録] 三股中の川流域(上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
48. *Saperda balsamifera* (MOTSCHULSKY) キボシマダラカミキリ (分布:C型)  
 [文献記録] 三股中の川流域(上士幌町, 1996a), 三股(集落跡周辺)(上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。上記文献では本種を「注目種」としている(上士幌町, 1996b)。
49. *Eutetrarcha chrysochloris* BATES ハンノアオカミキリ (分布:A型)  
 [文献記録] 三股中の川流域(上士幌町, 1996a), 三股(中山, 2014), 糠平(中山, 2014)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
50. *Eutetrarcha sedecimpunctata* (MOTSCHULSKY) シナカミキリ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平(中山, 2014)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

## [26] CHRYSOMELIDAE ハムシ科

- c. 既記録種の追加記録等
1. *Plateumaris sericea* (LINNAEUS) スゲハムシ (分布:B型)  
 [文献記録] 三股(集落跡の湿地)(上士幌町, 1996a)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
2. *Smaragdina aurita* (LINNAEUS) キボシルリハムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 幌加600m(高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
3. *Cryptocephalus sexpunctata* (LINNAEUS) ムツボシツツハムシ (分布:C型)  
 [文献記録] 幌加600m(高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。
4. *Basilepta balyi* (HAROLD) チャイロサル(ハンノキサル)ハムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平600m(高橋, 2012b), 糠平(高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された。

5. *Bromius obscurus* (LINNAEUS) ブドウサル (フキサル) ハムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 幌加600m (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
6. *Syneta adamsi* BALY カバノキハムシ (分布: B型)  
 [文献記録] ウペベサンケ山東斜面800-1000m (高橋, 2012b), 糠平 (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
7. *Plagioderia versicolora* (LAICHARTING) ヤナギルリハムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平600m (高橋, 2012b)  
 [追加記録] 2exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録が追加された.
8. *Chrysolina angusticollis* (MOTSCHULSKY) オオヨモギハムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平600m (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
9. *Linnaeidea aenea* (LINNAEUS) ルリハムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平 (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
10. *Chrysomela lapponica* (LINNAEUS) ウズマキハムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 三俣 (sic. = 三股) (村野, 2015)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された. 村野は本種の生態について, 「山道に生えたバッコヤナギから採集され, 「様々な高さの木から得られたが, 特定の木に多数の個体が集まる傾向があるよう」だと述べている.
11. *Chrysomela cuprea* (FABRICIUS) ムラサキハムシ (分布: C型)  
 [文献記録] 三俣 (sic. = 三股) (村野, 2015)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された. 村野は本種の生態について, 「巨大なドロノキをスイーピングすることにより採集された. またバッコヤナギからウズマキハムシに混じって採集された」が, 「一本の木に複数の個体が群れていることはなく, 「成長した巨木を好む傾向があるよう」だと述べている.
12. *Gastrolina peltoidea* (GEBLER) ミヤマヒラタハムシ (分布: B型)  
 [追加記録] 4exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する.
13. *Gonioctena japonica* (CHŪJŌ et KIMOTO) トホシハムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平600m (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
14. *Gonioctena flavicornis* (SUFFRIAN) ヤナギムジハムシ (分布: B型)  
 [文献記録] 糠平 (Kimoto, 1963ほか); 上士幌本町 (芳賀, 1993)  
 本種の学名と和名は国内では混乱してきた経緯があり, 学名としては「*Gonioctena sibirica* (WEISE)」または「*Gonioctena sorbina* (WEISE)」, 和名としては「ヤナギムジハムシ」と「ウストホシハムシ」が使用されていた. 著者らは前報で, 上士幌町内の本種の記録を一括「*Gonioctena sibirica* (WEISE) ヤナギムジハムシ」として発表した (詳細は前報を参照). その後, Takizawa (2007) が上記2学名の両方を*G. flavicornis*の同物異名としたことを知った. なお保田 (2014) は*G. flavicornis*と*G. sibirica*を互いに別の種として大雪山地域から記録し, かつ著者らが前報で*G. flavicornis*を上士幌町内から記録しているという引用を行っているが, いずれも誤りである.
15. *Stenoluperus nipponensis* (LABOISSIÈRE) ヒゲナガウスバ (ニッポンウスバ) ハムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 幌加600mm (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
16. *Agelasa nigriceps* MOTSCHULSKY キクビアオ (キムネアオバ) ハムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平 (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
17. *Batophila acutangula* HEIKERTINGER ハネナシトビハムシ (分布: A型)  
 [文献記録] 糠平600m (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

18. *Aphthona perminuta* BALY ツブノミ (ブナトビ) ハムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平600m (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
19. *Phyllotreta ezoensis* KIMOTO ムモンキスジノミハムシ (分布:C型)  
 [文献記録] 糠平600m (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
20. *Longitarsus scutellaris* (REY) オオバコトビハムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平 (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
21. *Hippuriphila babai* (CHÛJÔ) アカガネトビハムシ (分布:C型)  
 [文献記録] 糠平600m (高橋, 2012b), 糠平 (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
22. *Chaetocnema concinna* (MARSHALL) テンサイトビハムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平600m (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.
23. *Psylliodes angusticollis* BALY ナスナガスネトビ (ナストビ) ハムシ (分布:A型)  
 [文献記録] 糠平600m (高橋, 2012b)  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録が追加された.

[27] ATTELABIDAE オトシブミ科 (※を付した個体は宮田達美同定)

a. 誤同定の訂正

1. (誤) *Involvulus pilosus* (ROELOFS) ヒメケブカチョッキリ  
 (正) *Neocoenorrhinus interruptus* (VOSS) ヤナギルリチョッキリ (分布:B型)  
 [文献記録] 糠平湖 (芳賀ほか, 2010)

b. 追加種

1. *Neocoenorrhinus interruptus* (VOSS) ヤナギルリチョッキリ (分布:B型)  
 [追加記録] 2exs. (2014年※), 30. VI. 2007, 糠平湖右岸5の沢流入点南約500m, H, 芳賀馨保管  
 著者らが前報で「ヒメケブカチョッキリ」として記録した2頭の標本が宮田氏によって本種と同定された。宮田氏(私信)によれば, 本種は札幌周辺では普通種ではないもののそれほど少ない種でもなく, ヤナギ類の他ミズナラやカシワ, オニシモツケ等に見られるという.

c. 既記録種の追加記録等

1. *Euops punctatoscriptus* MOTSCHULSKY ルリオトシブミ (分布:A型)  
 [追加記録] 5exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する.

[28] CURCULIONIDAE ゾウムシ科 (※を付した個体は小島弘昭同定)

c. 既記録種の追加記録等

1. *Phyllobius prolongatus* MOTSCHULSKY アオヒゲボソゾウムシ (分布:B型)  
 [追加記録] 1♀, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する.
2. *Phyllobius annectens* SHARP トゲアシヒゲボソゾウムシ (分布:A型)  
 [追加記録] 3♂1♀, 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する.
3. *Phyllobius picipes* MOTSCHULSKY コブヒゲボソゾウムシ (分布:A型)  
 [追加記録] 5exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
 本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する.
4. *Scepticus insularis* ROELOFS クワヒョウタンゾウムシ (分布:A型)  
 [文献記録] ウペペサンケ山 (芳賀, 1998. 「*Scepticus* sp.」として)  
 [追加記録] 1ex. (2015年※), 22. VII. 1989, ウペペサンケ山第2登山口~1380峰, H, 小島弘昭保管  
 本種は芳賀(1998)において「*Scepticus* sp.」として記録された種で, 種までの同定ができなかったため前報には収録しなかつた。



った。後日齋藤修司氏の紹介により小島博士に検視していただくことができ、本種と同定された。

5. *Chlorophanus grandis* (ROELOFS) オオアオゾウムシ (分布: B型)  
[文献記録] 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
6. *Hypera rumicis* (LINNAEUS) ギシギシタコゾウムシ (分布: C型)  
[文献記録] 三股 (集落跡の湿地) (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
7. *Lixus maculatus* ROELOFS アイノカツオゾウムシ (分布: B型)  
[文献記録] 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
8. *Coeliodinus etrofensis* (KÔNO) エトロフアカサルゾウムシ (分布: C型)  
[文献記録] ウペペサンケ山 (保田, 2006; 保田, 2014)  
前報で引用した保田 (2006) において, 本種の学名は *Coeliodes etrofensis* KÔNO とされているが, 保田 (2014) では上記のとおり変更されている。保田氏 (私信) によれば, 本種の同定は的場績氏による。
9. *Telephae konoi* MORIMOTO コウノヒメクモゾウムシ (分布: C型)  
[追加記録] 2exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。
10. *Hylobitelus haroldi* (FAUST) マツアナアキゾウムシ (分布: A型)  
[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
11. *Hylobitelus montanus* KÔNO ミヤマアナアキゾウムシ (分布: B型)  
[追加記録] 2exs., 11. VII. 2011, 糠平湖右岸平の沢付近, H  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の記録を追加する。
12. *Niphades variegatus* (ROELOFS) クロコブゾウムシ (分布: A型)  
[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a), 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
13. *Cryptorhynchus lapathi* (LINNAEUS) ヤナギシリジロゾウムシ (分布: B型)  
[文献記録] 三股シンノスケ3の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。

#### [29] RHYNCHOPHORIDAE オサゾウムシ科

- c. 既記録種の追加記録等
1. *Sipalinus gigas* FABRICIUS オオゾウムシ (分布: A型)  
[文献記録] 三股14の沢 (上士幌町, 1996a)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。

#### [30] SCOLYTIDAE キクイムシ科

- b. 追加種
1. *Hylurgops palliatus* (GYLLENHAL) ウスイロキクイムシ (分布: B型)  
[文献記録] 糠平 (Kôno, 1938b)  
本種は前報に収録できなかった種で, 上記の文献記録を新たに見出した。  
著者 (芳賀, 1993) は上士幌本町から本種と思われる種を疑問符付きで記録したが, 同定に確信が持てなかったため前報には再録しなかった。
- c. 既記録種の追加記録等
1. *Polygraphus proximus* BLANDFORD トドマツノキクイムシ (分布: A型)  
[文献記録] 上士幌 (Kôno, 1938b)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。
2. *Dryocoetes rugicollis* EGGERS アトマルキクイムシ (分布: B型)  
[文献記録] 上士幌 (Kôno, 1938b; Sawamoto, 1940)  
本種は前報で記録された種であるが, 上記の文献記録を新たに見出した。

## 別表2 上士幌町から新たに記録されたが同定に疑問がある甲虫の目録

## [1] CARABIDAE オサムシ科

1. *Synuchus nitidus* (MOTSCHULSKY) オオクロツヤヒラタゴミムシ

【文献記録】 三股シンノスケ3の沢(上士幌町, 1996a), 三股14の沢(上士幌町, 1996a), 三股中の川流域(上士幌町, 1996a)  
 疑問記録. 本種は主要な文献の全てにおいて北海道には分布しないとされている. 本州以南での生息環境も温暖なヤブツバキ  
 クラス域の森林が中心で, 三股に類似した亜寒帯針葉樹林には生息しない. クロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus cycloderus* (BATES)  
 の大型個体を誤認したものではないかと思われる.

## [2] STAPHYLINIDAE ハネカクシ科

1. *Liophilodrodes pullus* NAKANE et SAWADA クロヒラタヨツメハネカクシ

【文献記録】 糠平(保田, 2014)

誤記録. 保田(2014)はNakane & Sawada(1956)の引用として「糠平」の記録があると記載しているが, Nakane & Sawada  
 (1956)には上記種の糠平の記録は記載されていない. 保田氏に照会したところ, 引用誤りとのことのお返事をいただいた.

## [3] LYCIDAE ベニボタル科

1. *Mesolycus atrorufus* (KIESENWETTER) ホソベニボタル

【文献記録】 三股シンノスケ5の沢(保田, 2014)

誤記録. 保田(2014)は宮下(1996)の引用として「三股シンノスケ5の沢」の記録があると記載しているが, 宮下(1996)に  
 は本種の三股シンノスケ5の沢での記録は記載されていない. 保田氏に照会したところ, 引用誤りとのことのお返事をいただいた.

## [4] DERMESTIDAE カツオブシムシ科

1. *Dermestes undulatus* BRAHM シモフリカツオブシムシ

【文献記録】 天宝山(保田, 2014)

誤記録. 保田(2014)は山之内(1975)の引用として「天宝山」の記録があると記載しているが, 山之内(1975)には本種  
 の天宝山での記録は記載されておらず, 「シモフリマルカツオブシムシ」=チビマルカツオブシムシ *Anthrenus japonicus* N.  
 OHBAYASHIが記載されている. 保田氏に照会したところ, 引用誤りとのことのお返事をいただいた.

## [5] NITIDULIDAE ケシキスイ科

1. *Eपुरaea depressa* (ILLIGER) ヒゲブトヒラタケシキスイ

【文献記録】 糠平(保田, 2014)

誤記録. 保田(2014)はNakane(1967)の引用として「糠平」の記録があると述べているが, Nakane(1967)には本種の糠  
 平の記録は記載されていない, 「*Eपुरaea densepunctata*」=セグロヒラタケシキスイが記載されている. 保田氏に照会したとこ  
 ろ, 引用誤りとのことのお返事をいただいた.

2. *Eपुरaea longula* (ERICHSON) ハネナガヒラタケシキスイ

【文献記録】 上士幌本町(保田, 2014)

本種である可能性のある個体が採集されていることは事実であるが, 現時点では誤記録としたい. 保田(2014)は著者の報告  
 (芳賀, 1993)の引用として「上士幌本町」の記録があると記載しているが, 著者は芳賀(1993)において本種の同定に確信が  
 持てなかったため, 種名に「?」を付して記録した. この状況は前報(芳賀ほか, 2010)時点でも同じであったため, 前報では  
 再録を見送った. 現時点でも本種の同定には確信が持てないので, 本報告でも再録を見送ることとする.

## [6] CERAMBYCIDAE カミキリムシ科

1. *Rosalia batesi* HAROLD ルリボシカミキリ

【文献記録】 三股(保田, 2014)

誤記録. 保田(2014)は石浜・国本(1994)の引用として「三股」の記録があると述べているが, 石浜・国本(1994)には本  
 種の上士幌町内の記録は記載されていない. 保田氏に照会したところ, 引用誤りとのことのお返事をいただいた.

2. *Monochamus saltuarius* GEBLER カラフトヒゲナガカミキリ

【文献記録】 糠平(Ehara, 1951)

疑問記録. 保田(2014)は上記の記録があると述べているが, 本種は主要な文献の全てにおいて北海道には分布しないとされ  
 ている. ヒメシラフヒゲナガカミキリ *Monochamus sutor* (LINNAEUS) の小型個体を誤認したものではないかと思われる.

## [7] CHRYSOMELIDAE ハムシ科

1. *Sphaeroderma unicolor* KIMOTO キイロタマノミハムシ

【文献記録】 糠平(保田, 2014)

誤記録. 保田(2014)はKimoto(1965)の引用として「糠平」の記録があると述べているが, Kimoto(1965)には上記種の  
 北海道内の記録は記載されていない. 保田氏に照会したところ, 引用誤りとのことのお返事をいただいた.

別表3 上士幌町から記録されているハネカクシ科の種の学名の変更

旧学名	新学名・和名(柴田ほか, 2013)	備考
<i>Megarathrus heterops</i> K. SAWADA	<i>Megarathrus hemipterus</i> ILLIGER カバイロハバビロハネカクシ	
<i>Megarathrus subparallelus</i> K. SAWADA	<i>Megarathrus parallerus</i> SHARP ムツバハバビロハネカクシ	*1
<i>Pycnoglypta nipponica</i> Y. WATANABE	<i>Acrulioptis nipponica</i> (Y. WATANABE) ヒメヘリトゲヨツメハネカクシ	*1
<i>Psephidonus aokii</i> Y. WATANABE	<i>Geodromicus aokii</i> (Y. WATANABE) アオキミズギワヨツメハネカクシ	
<i>Psephidonus sinuatus</i> (SHARP)	<i>Geodromicus sinuatus</i> (SHARP) クロツヤミズギワヨツメハネカクシ	
<i>Philydrodes puncticollis</i> (NAKANE et K. SAWADA)	<i>Liophilydrodes puncticollis</i> (NAKANE et K. SAWADA) エゾヒラタヨツメハネカクシ	*1
<i>Philydrodes subtilis</i> (SHARP)	<i>Liophilydrodes subtilis</i> (SHARP) アカヒラタヨツメハネカクシ	*1
<i>Coryphium miyamorii</i> Y. WATANABE	<i>Archaeoboreaphilus miyamorii</i> (Y. WATANABE) ミヤモリカクムネヨツメハネカクシ	*1
<i>Coryphium coriaceoides</i> (SHIBATA)	<i>Planeboreaphilus coriaceoides</i> (SHIBATA) イブシヨツメハネカクシ	*1
<i>Lathrobium rishiriense</i> Y. WATANABE et Y. SHIBATA	<i>Lathrobium japonicum japonicum</i> BERNHAUER リシリコバネナガハネカクシ	
<i>Xantholinus suffusus</i> SHARP	<i>Megalinus suffusus</i> (SHARP) キバネナガハネカクシ	
<i>Xantholinus pleuralis</i> SHARP	<i>Nudobius pleuralis</i> (SHARP) クロバネナガハネカクシ	
<i>Xantholinus pauper</i> (SHARP)	<i>Medhiama paupera</i> (SHARP) ウスイロホソナガハネカクシ	
<i>Philonthus parvus</i> SHARP	<i>Bisnius parvus</i> (SHARP) オオズニセコガシラハネカクシ	*1
<i>Philonthus pseudojaponicus</i> BERNHAUER	<i>Philonthus oberti</i> EPPELSHEIM ニセクロオオコガシラハネカクシ	*1
<i>Philonthus cyanipennis</i> (FABRICIUS)	<i>Philonthus caeruleipennis</i> (MANNERHEIM) ルリコガシラハネカクシ	
<i>Philonthus brunnicollis</i> (HOCHHUTH)	<i>Rabigus inconstans</i> SHARP ホソチャバネコガシラハネカクシ	
<i>Platydacus paganus</i> (SHARP)	<i>Platydacus brevicornis</i> (MOTSCHULSKY) アカバトガリオオズハネカクシ	*1
<i>Ocypus brevicornis</i> WEISE	<i>Platydacus brachycerus</i> SMETANA et DAVIES ヒメクロトガリオオズハネカクシ	*1
<i>Ocypus rambouseki nigroaeneus</i> SHARP	<i>Ocypus nigroaeneus</i> SHARP クロマルズオオハネカクシ	*1
<i>Velleius dilatatus</i> (FABRICIUS)	<i>Quedius dilatatus</i> (FABRICIUS) ナミクシヒゲハネカクシ	
<i>Velleius setosus</i> SHARP	<i>Quedius setosus</i> (SHARP) コクシヒゲハネカクシ	
<i>Mycetoporus discoidalis</i> SHARP	<i>Ischnosoma discoidale</i> (SHARP) ヤマトイクビハネカクシ	
<i>Lordithon breviceps</i> (SHARP)	<i>Lordithon trimaculatus</i> (FABRICIUS) ウスモンキノコハネカクシ	
<i>Bolitobius prolongatus</i> (SHARP)	<i>Parabolitobius prolongatus</i> (SHARP) アカチャキノコハネカクシ	
<i>Sepedophilus bipustulatus</i> (GRAVENHORST)	<i>Sepedophilus wankowiczi</i> (PANDELLÉ) フタモンヒメキノコハネカクシ	*2
<i>Tachinus sharpi</i> BERNHAUER et SCHUBERT	<i>Tachinus gelidus</i> (EPPELSHEIM) アカバマルクビハネカクシ	
<i>Tachinus impunctatus</i> SHARP	<i>Notidotachinus impunctatus</i> (SHARP) ムネアカマルクビハネカクシ	
<i>Zyras cognatus japonicus</i> SHARP	<i>Pella japonica</i> (SHARP) ネアカクリアリハネカクシ	*1
<i>Aleochara bipustulata</i> (LINNAEUS)	<i>Aleochara verna</i> SAY フタモンヒゲブトハネカクシ	*3

\*1: 和名も変更(新設含む)されている。

\*2: 和名交換. Yamamoto (2013) により日本産の「フタモンヒメキノコハネカクシ」の学名は上記に変更された. Yamamotoは、「*S. bipustulata*」と同定された日本産の一連の標本を調査した結果、その全てが*S. wankowiczi*であったと述べ、真の*S. bipustulata*は日本には産しない(分布域は欧州から西シベリアまで)と結論している。\*3: 和名交換. Yamamoto & Maruyama (2013) により日本産の「フタモンヒゲブトハネカクシ」の学名は上記に変更された. Yamamoto & Maruyamaは、「*A. bipustulata*」と同定された日本産の標本約250頭を調査した結果、その全てが*A. verna*であったと述べ、真の*A. bipustulata*は日本には産しないと結論している。

